

HS 025 タイプ 防水コネクタ
取扱説明書

HANDLING MANUAL FOR
HS 025 TYPE SEALED CONNECTOR

矢崎総業株式会社
矢崎部品株式会社

改訂年月日 2025 年 4 月 14 日

このたびは矢崎製品をご使用頂き誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管して下さい。
- 製品のご使用に際しては、貴社の製造、品質条件に適合し、かつ、要求の特性及び性能を満足していることをご確認頂きますようお願い致します。
- 本内容についてご不明点等があった場合は、弊社営業担当にご連絡頂くか下記の URL よりお問合せをお願い致します。
お問合せ先：<https://connector.yazaki-group.com/>
- 本取扱説明書は、発行先に対し連絡無しに改訂する場合がありますので必要時には最新版を御依頼願います。

安全上の注意事項について

この取扱説明書への表示では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、お守り頂くことを説明しています。

内容をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

表示内容を守らないことにより生じた危害や損害については、保証を致しかねますのでご了承下さい。

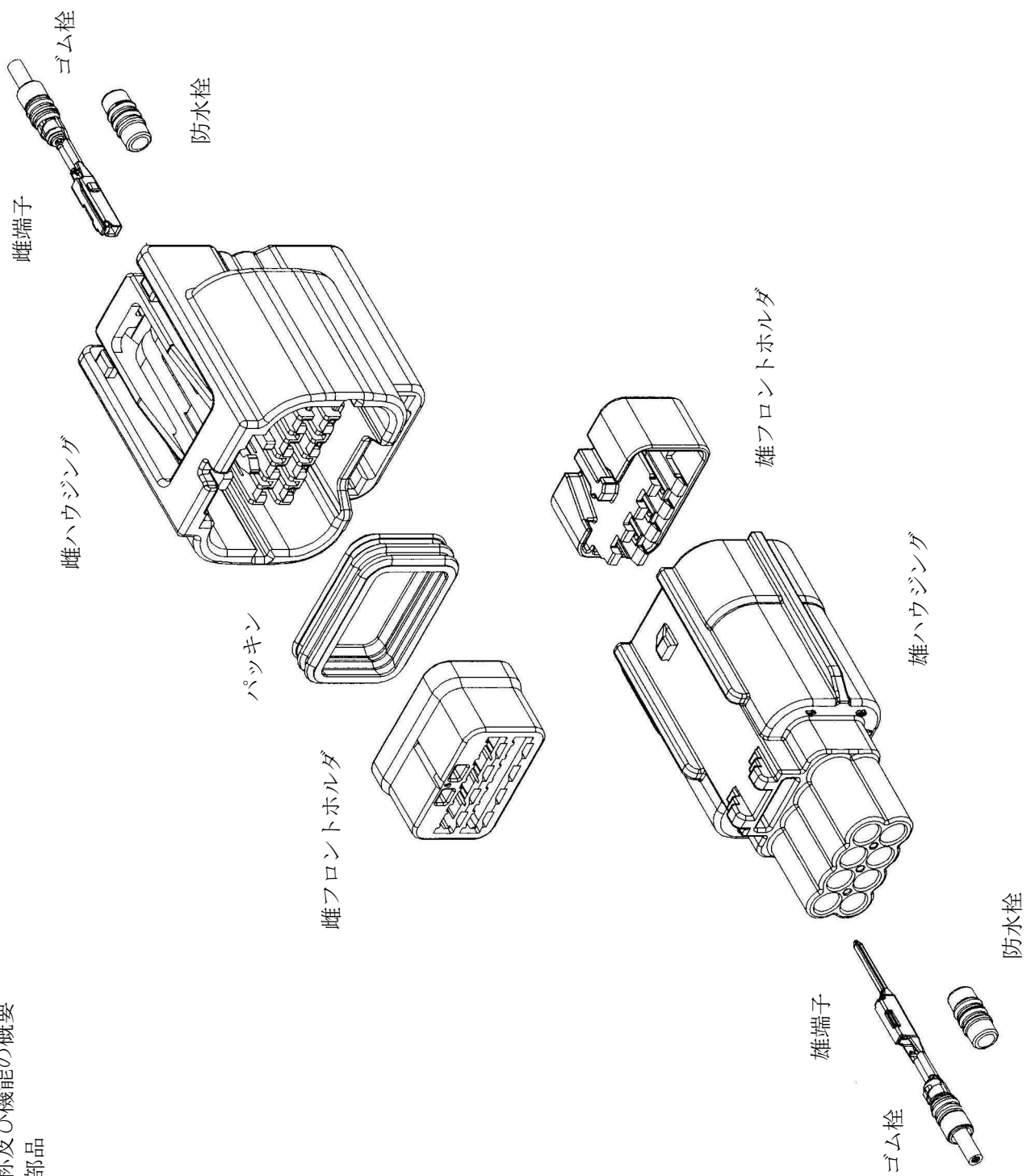
全体を通しての注意事項について

- ・水をかけないで下さい
- ・製品は正しい組合せで使用して下さい
- ・破損・変形等の問題が発生した製品は使用しないで下さい
- ・圧着は W/H メーカーが指定する設備、規格に従って下さい
- ・超音波接合、抵抗溶接、レーザー溶着等（製品に熱や振動等が加わる加工）をおこなう際は、破損等の悪影響が無いよう配慮をお願いします

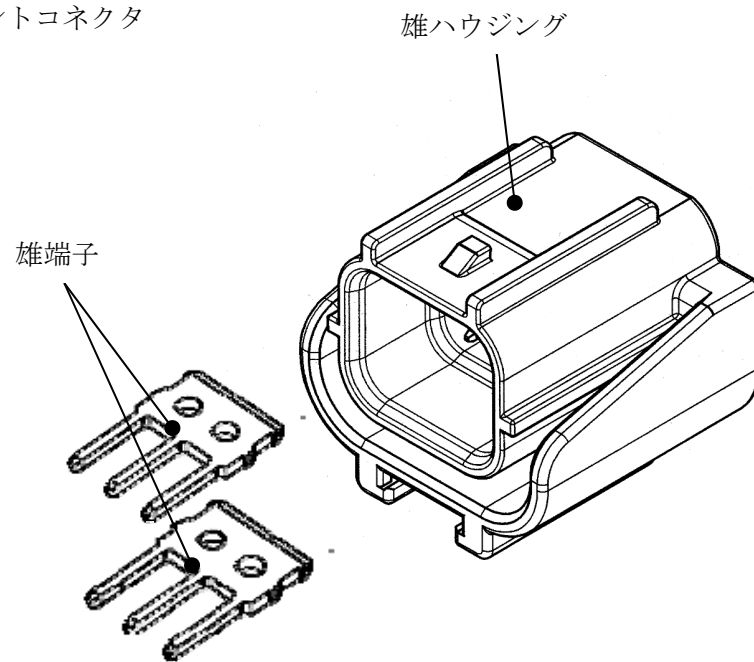
目 次

1. 構成部品と各部名称及び機能の概要	P. 3
2. 各部品の取扱いについて	P. 9
3. 端子圧着仕様	P. 11
4. 端子圧着済品の取扱い	P. 17
5. 端子とフロントホルダの組み付け方法及び注意事項	P. 18
6. 端子とフロントホルダの引き抜き方法及び注意事項	P. 22
7. ワイヤハーネス組み付けと取扱い	P. 26
8. コネクタのかん合・離脱方法	P. 32
9. 車輛組み付け	P. 33
◎構成部品一覧表	別紙-1
◎端子・ゴム栓・コネクタ対応一覧表	別紙-2～5

1. 構成部品と各部名称及び機能の概要
1-1. コネクタ構成部品



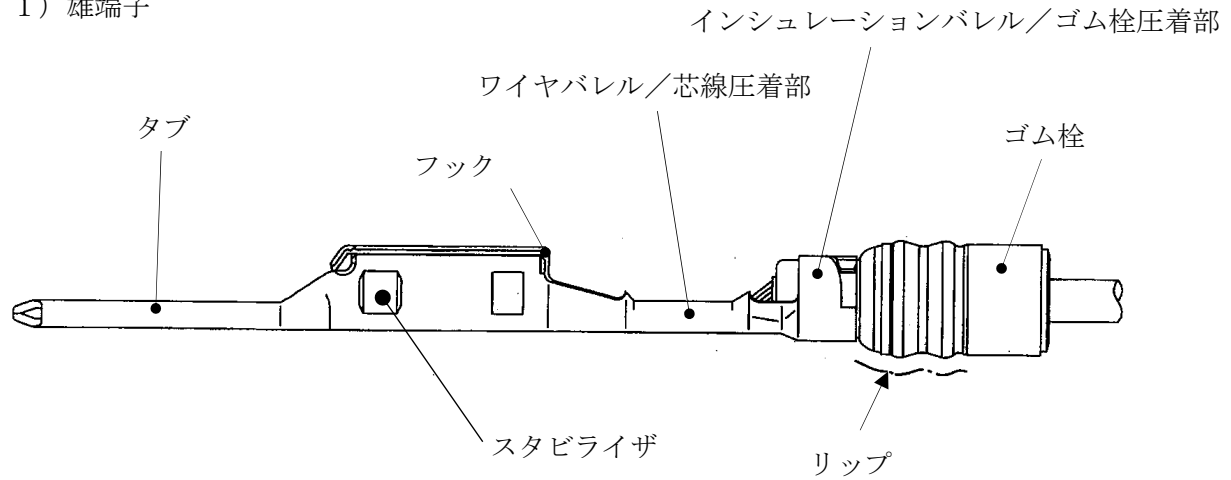
・ジョイントコネクタ



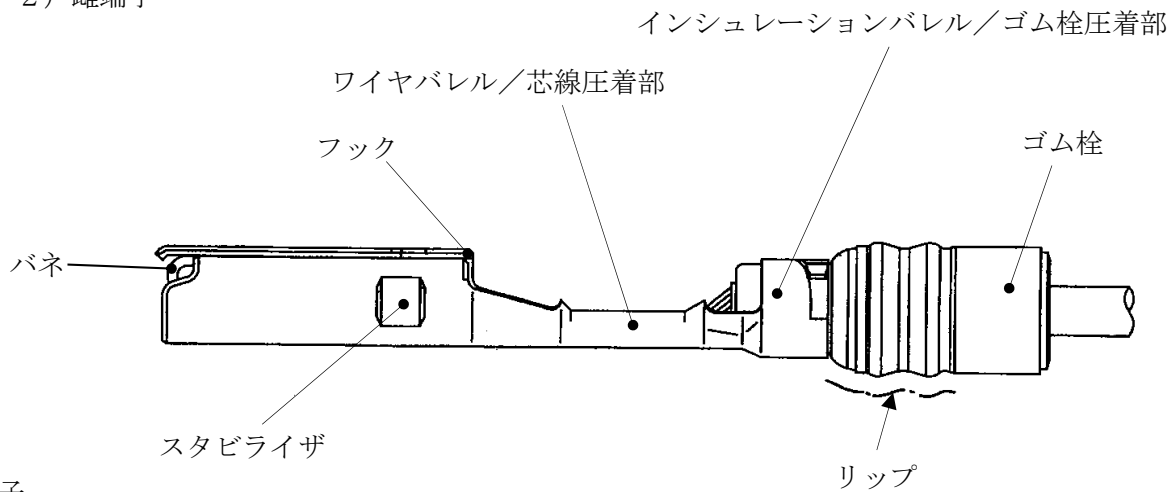
1-2. 各部名称及び機能

1-2-1. 端子

1) 雄端子



2) 雌端子



端子

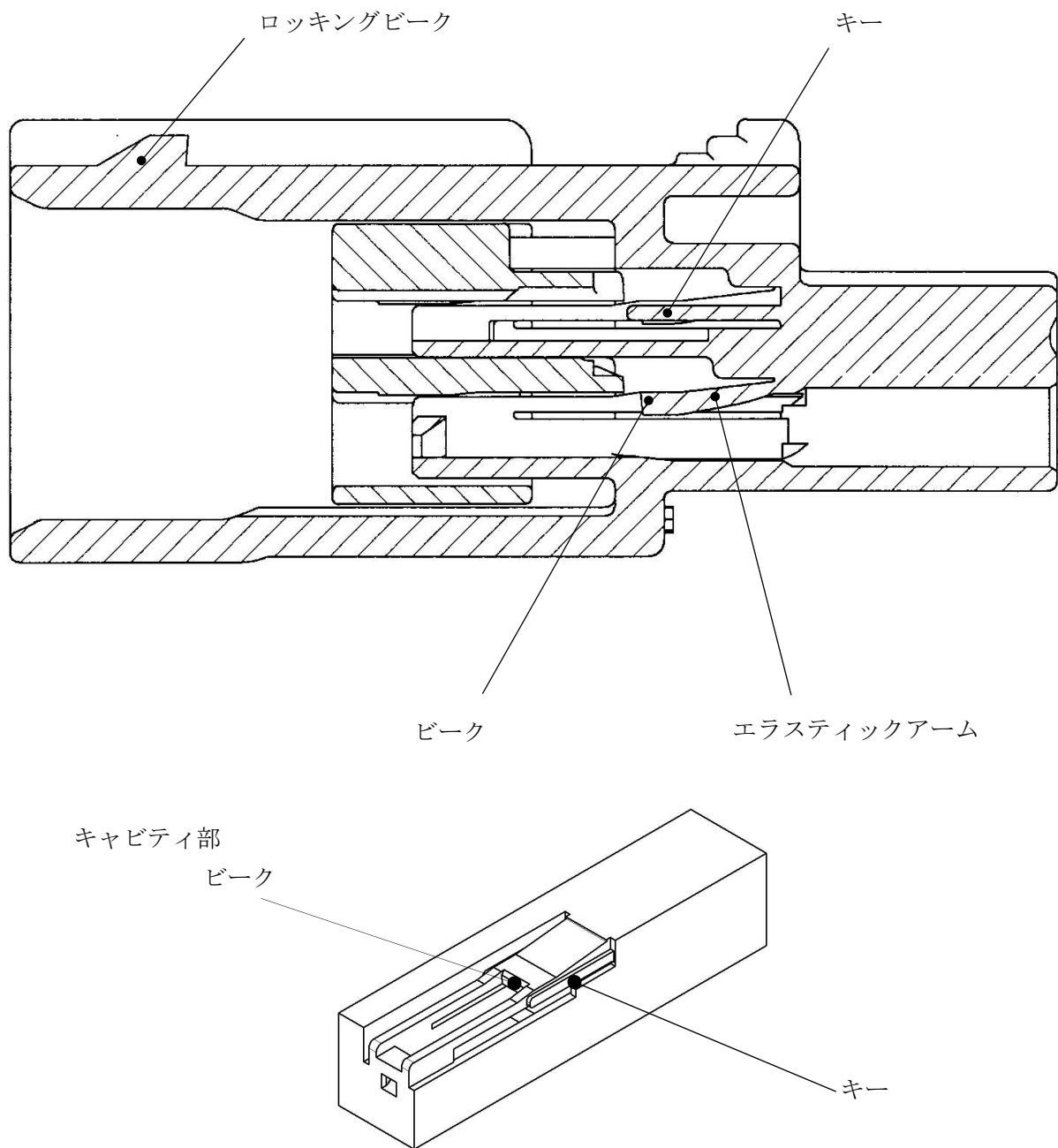
名称	機能
タブ	雌端子との接触
フック	ハウジングとの係止
ワイヤバレル/芯線圧着部	芯線保持及び電氣的接続
インシュレーションバレル/ゴム栓圧着部	絶縁体及びゴム栓の保持
スタビライザ	ハウジングへの逆挿入防止(誤方向)
バネ	雄端子との接触

ゴム栓

名称	機能
リップ	電線とハウジング間の防水

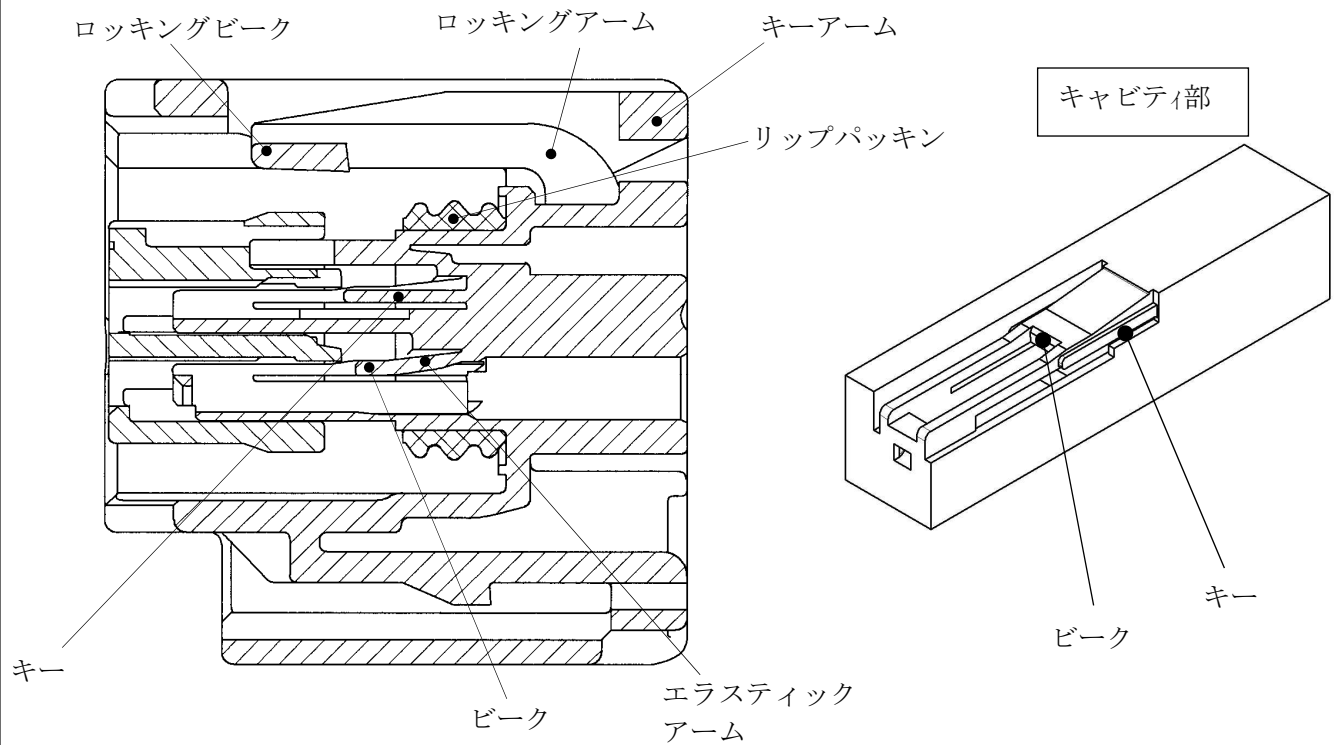
1-2-2. ハウジング

1) 雄ハウジング



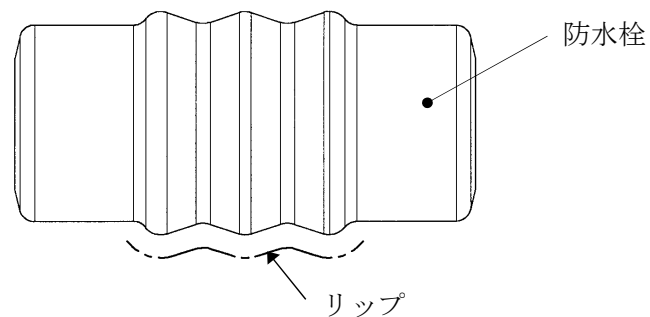
名称	機能
キー	ビーク解除
ビーク	端子離脱防止
エラスティックアーム	ビーク保持
ロックングビーク	雌ハウジングとの係止

2) 雌ハウジング



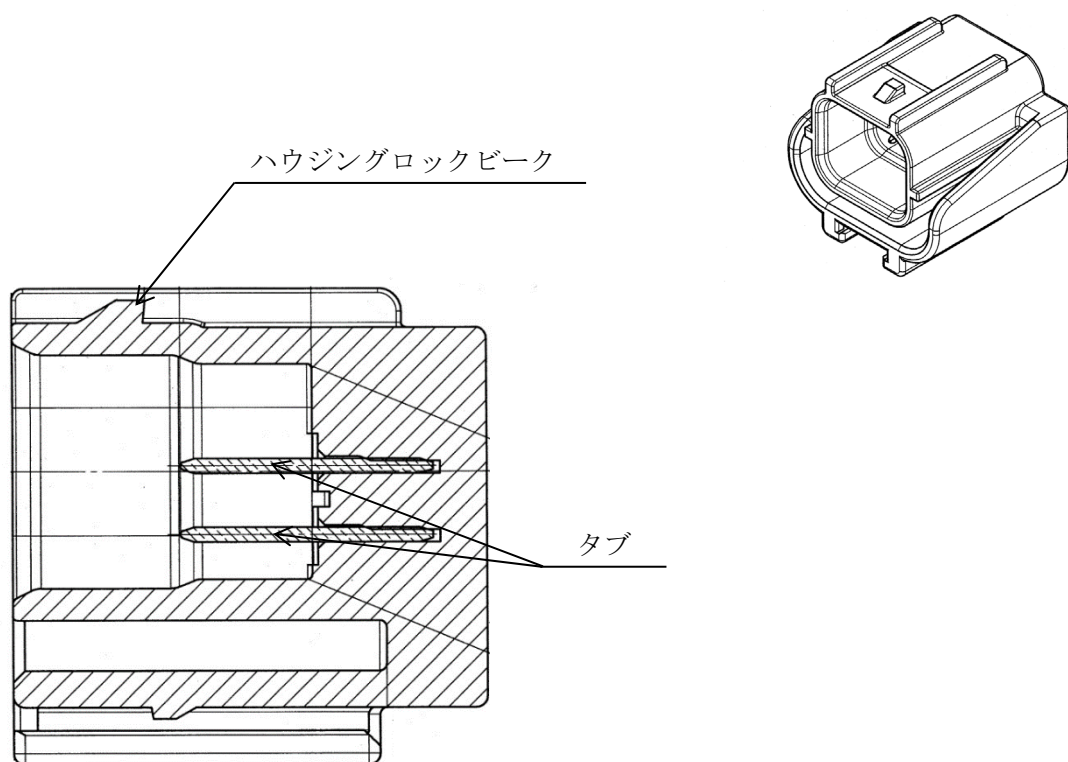
名称	機能
キー	ビーク解除
ビーク	端子離脱防止
エラスティックアーム	ビーク保持
ロックアーム	ロックビーク保持
ロックビーク	雄ハウジングとの係止
キーアーム	ハウジングロックの解除
リップパッキン	雄・雌ハウジング間の防水

1-2-3. 防水栓



名称	機能
リップ	ハウジング未使用キャビティの防水

1-2-4. ジョイントコネクタ



名称	機能
タブ	雌端子との接触
ハウジングロックビーク	雌ハウジングとの係止

2. 各部品の取扱いについて

2-1. ハウジングの受け入れ時の検査項目

部品受入時には、下記項目の検査を行って下さい。

- 1) 異品異物混入の確認をして下さい。
- 2) 欠け、割れ、変形（ヒケ、ダレ、ショートショット等）の有無を確認して下さい。
- 3) パッキンの外れ及び、有無の確認をして下さい。
- 4) フロントホルダの外れ及び、有無の確認をして下さい。フロントホルダが仮係止位置にあることを確認して下さい。

2-2. ハウジングの保管、運搬及び取扱い注意事項

各部品の運搬・保管には次の内容を守り、変形や損傷を防いで下さい。また、部品組み立て工程等での製品使用環境・組み付け条件の下での安全な取扱いにつきましては、適時弊社営業担当に問い合わせ下さい。

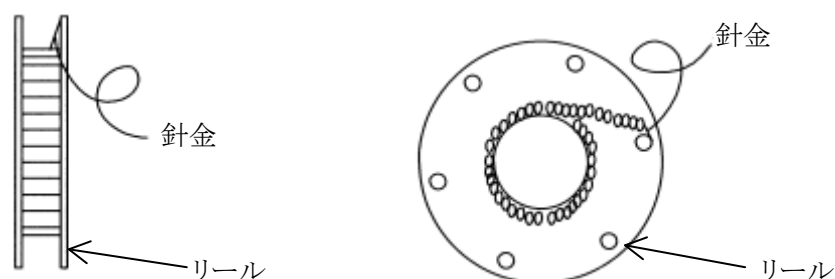
- 1) 積み上げないで下さい。
- 2) 直射日光の当たらない乾燥した場所に保管して下さい。（常温：5℃～35℃）
- 3) 湿気の多い場所では、ホコリや雨水等から保護する為にダンボール箱かビニール袋に入れておいて下さい。（湿度：45～85%RH）
- 4) 運搬の際は落下させたり、衝撃を与えない様十分注意して下さい。万一落下させた場合には、目視で確認できる変形品は、変形度合にかかわらず不良として下さい。
- 5) 保管中外部から力が加わらぬ様にして下さい。力の大きさ、時間によっては変形の原因となります。

2-3. 端子の検査

- 1) 異品、異物の混入
- 2) バリ、クラック、変形、傷等。
- 3) 変色、錆、汚れ、めっき剥がれ。
- 4) 端子同士の絡み、リールからのほつれ。

2-4. 端子の保管・運搬

- 1) 直射日光の当たらない乾燥した場所に横置きにして保管して下さい。
(常温：5℃～35℃)
- 2) 湿気の多い場所では、ホコリや雨水等から保護する為にダンボール箱かビニール袋に入れておいて下さい。(湿度：45～85%RH)
- 3) 積み重ねて保管することは、避けて下さい。
- 4) 端子の使用が途中で完了し保管する場合は、端子がほつれからまね様に、端末を針金にてリール枠に固定して下さい。
- 5) 梱包箱より取り出して運搬する場合には、必ずリールセンターを持ちリールを縦にして運搬願います。
- 6) 運搬の際は落下させたり、衝撃を与えない様十分注意して下さい。万一落下させた場合には目視で確認できる変形品は、変形度合にかかわらず不良として下さい。
- 7) 保管中外部から力が加わらぬ様にして下さい。力の大きさ、圧力時間によっては変形の原因となります。



良い例	悪い例
リール リール 梱包箱 2段積みまで して下さい。	リール リール リール (無保護状態での保管)

2-5. ゴム栓の保管・運搬

- 1) 直射日光の当たらない乾燥した場所に保管して下さい。(常温：5℃～35℃)
- 2) 異物が付着しない様にビニール袋に入れて密封保管して下さい。

3. 端子圧着仕様

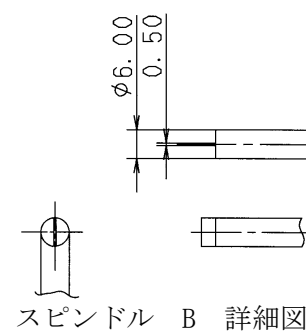
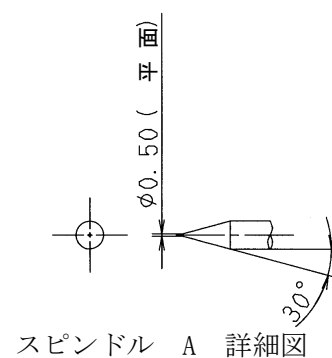
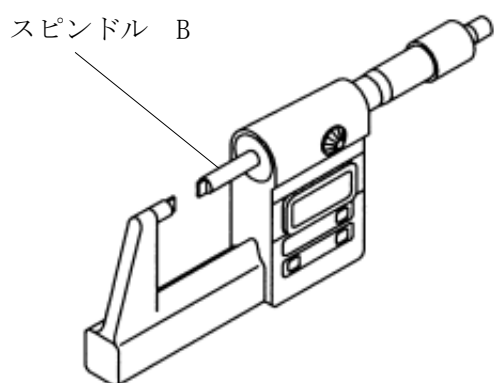
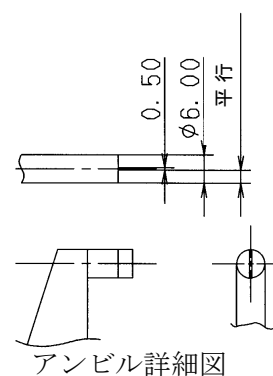
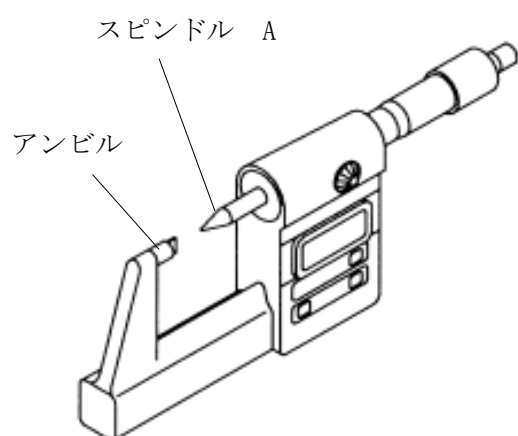
3-1. 圧着規格

- 1) 圧着規格については、適時弊社営業担当にお問い合わせ下さい。
- 2) 圧着の際は、必ず規格内で圧着して下さい。万一規格外で圧着された場合、加締部の固着力・電気抵抗が維持できず、製品の機能に支障をきたす恐れがあります。

3-2. クリンプハイト及びクリンプワイドの測定器と測定方法

3-2-1. 測定器

- 1) マイクロメータを使用して測定して下さい。
- 2) マイクロメータは、下記仕様のアンビル、及びスピンドルを使用して下さい。
- 3) マイクロメータは、スタンドに固定して使用して下さい。

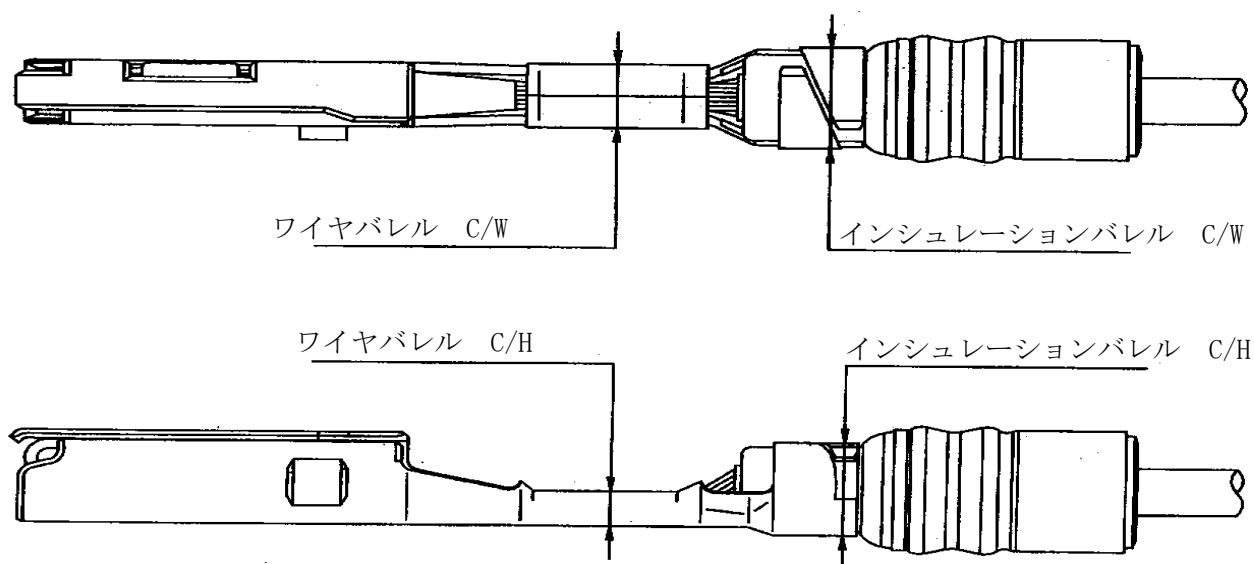


測定箇所	使用部品
ワイヤバレル クリンプハイト	スピンドル A
ワイヤバレル クリンプワイド	スピンドル B
インシュレーションバレル クリンプハイト	
インシュレーションバレル クリンプワイド	

3-2-2. クリンプハイト、クリンプワイドの測定方法

クリンプハイト (C/H) …圧着部の高さ

クリンプワイド (C/W) …圧着部の幅



芯線圧着部のクリンプハイトは、2点測定法（①、②）にてバリの測定も行って下さい。

※ 2点測定法

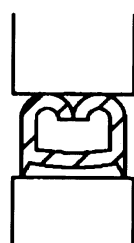
①クリンプハイト測定方法

②バリ測定方法

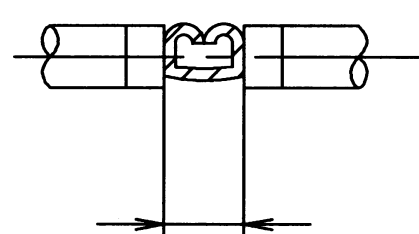
クリンプワイド測定方法



スピンドル A



スピンドル B

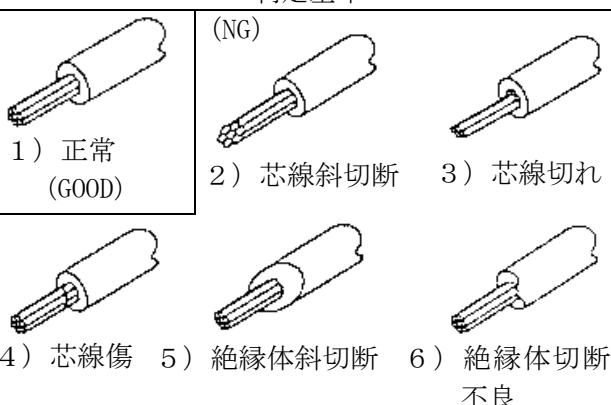
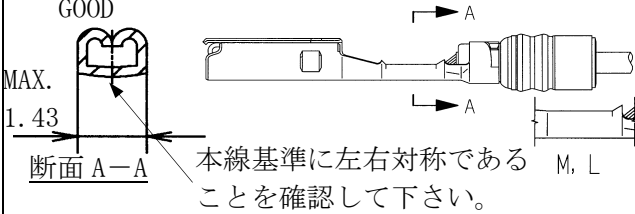
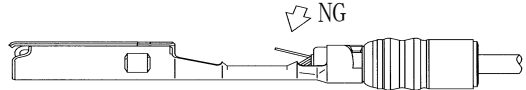
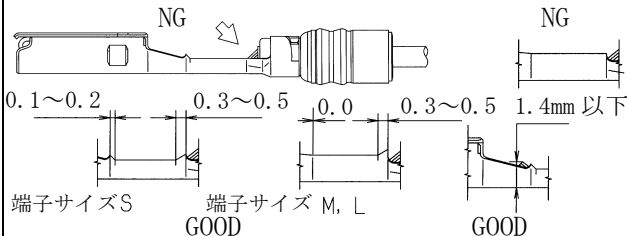
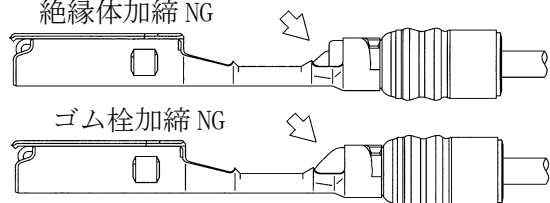


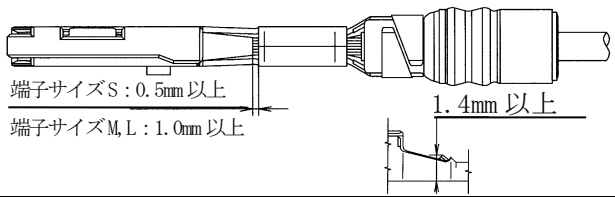
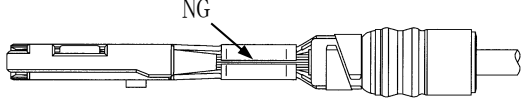
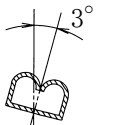
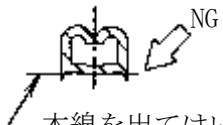
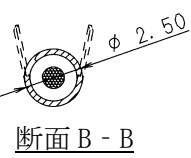
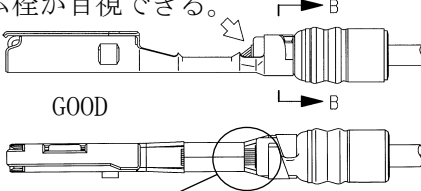
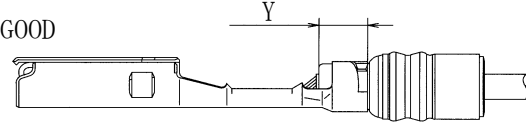
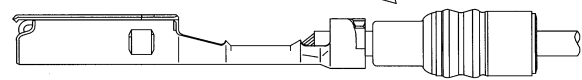
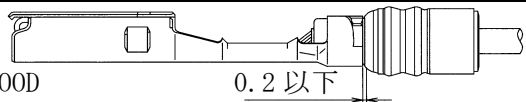
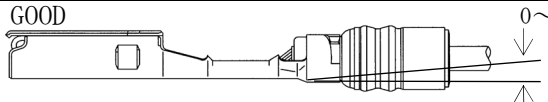
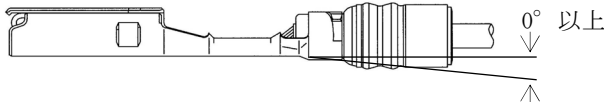
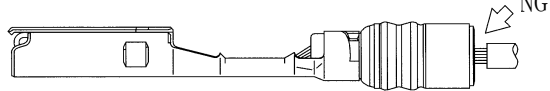
— バリの測定 —

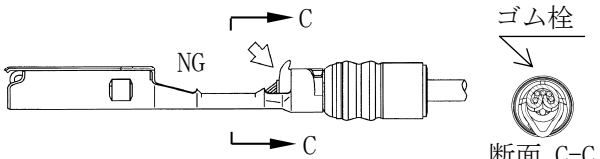
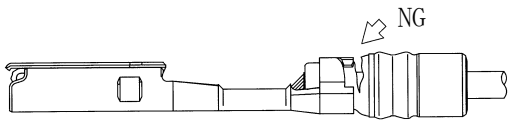
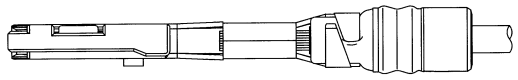
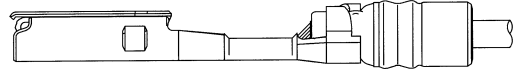
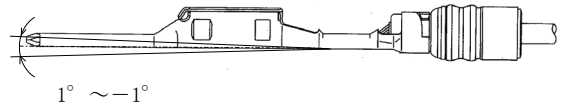
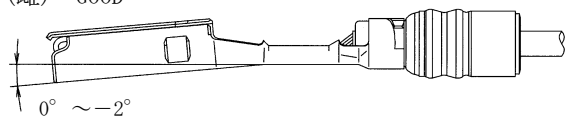
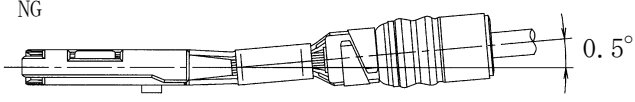
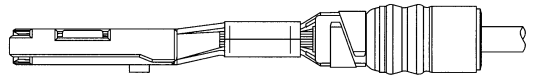
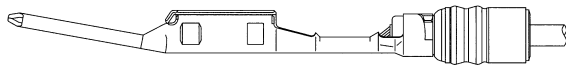
*② ≤ ①であることを確認して下さい。

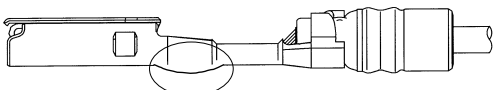
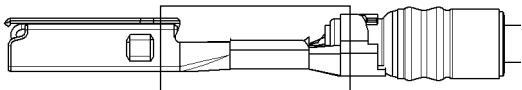
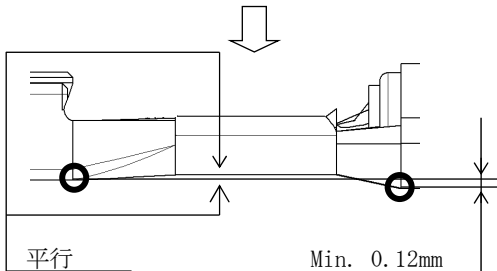
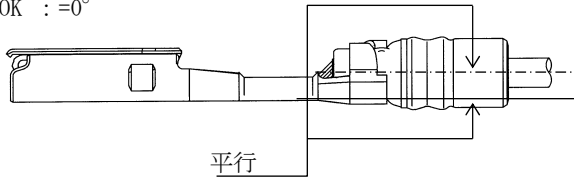
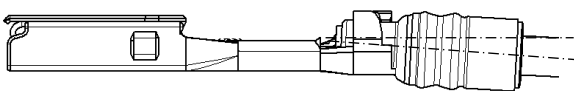
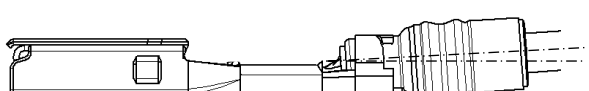
3-3. 端子圧着の注意事項と判定基準

- 1) 皮むきした電線は、すぐに圧着作業を行って下さい。
移動や保管は、芯線がばらけやすく不良の原因となりやすいので、避けて下さい。
- 2) 変形した端子の手直しは絶対に行わないで下さい。
- 3) 圧着後は、速やかにハウジングに組み付けて下さい。すぐに組み付けない場合は、端子部を清潔なビニール袋等で保護して下さい。
- 4) 必ず電線にゴム栓を通してから皮むきを行って下さい。
- 5) 端子圧着時には、下記の項目を確認して下さい。

項目	チェック内容	判定基準
1. 電線 皮むき	1) 正常 2) 芯線斜切断 3) 芯線切れ 4) 芯線傷 5) 絶縁体斜切断 6) 絶縁体切断不良	 (NG) 1) 正常 (GOOD) 2) 芯線斜切断 3) 芯線切れ 4) 芯線傷 5) 絶縁体斜切断 6) 絶縁体切断不良
2. 圧着形状	1) 正常圧着状態	 GOOD MAX. 1.43 断面 A-A 本線基準に左右対称であることを確認して下さい。 水平部 (12.35) (8.50) 0.64 ±0.015 GOOD 圧着機を新規／変更で使用する場合には、タブ厚(雄)・箱部高さ(雄・雌)の、機能に影響する部位を変形させない様注意して下さい。(圧着前と後で寸法変化がないことを確認して下さい。)
	2) 芯線のほつれ	 NG
	3) ベルマウス	 NG 0.1~0.2 0.3~0.5 0.0 0.3~0.5 1.4mm 以下 端子サイズ S 端子サイズ M, L GOOD
	4) 絶縁体、及びゴム栓加締がないか見る	 絶縁体加締 NG ゴム栓加締 NG

項目	チェック内容	判定基準
2. 圧着形状	5) 芯線出し	芯線飛び出し NG 
	6) すきま	NG  ワイヤバレルに芯線が見える様な隙間がないことを確認して下さい。
	7) バリ及びねじれ	基準線に対して 3° 以上のねじれは NG。   本線を出てはいけない (バリ測定方法は、3-2-2を参照)
	8) 正常圧着状態	絶縁体及びゴム栓が目視できる。   芯線が見えることを確認して下さい。
	9) ゴム栓の位置	GOOD  インシュレーションバレルはゴム栓の Y 区間にあることを確認して下さい。リップ部に傷をつけてはいけません。
	10) ゴム栓抜け	NG  ゴム栓が抜けていないことを確認して下さい。
	11) つなぎ出し長さ	GOOD  ゴム栓リップ部を傷つけないで下さい。
	12) 圧着後の後足形状	GOOD  NG 
	13) 絶縁体下がり	NG 

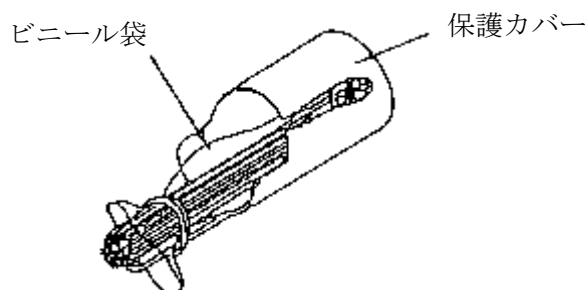
項目	チェック内容	判定基準
2. 圧着形状	1 4) ゴム栓先端の浮き上がり	 断面 C-C ゴム栓先端が浮き上がり、絶縁体とゴム栓の間に隙間がないことを確認して下さい。
	1 5) ゴム栓の切れ	
	1 6) ゴム栓圧着形状	上面  側面  インシュレーションバレル先端の突き刺さりがある場合、ハウジングへの5回挿入後、ゴム栓切れ（2－1 5 参照）外れのないことを確認して下さい。
3. 圧着による変形	1) 上下方向曲がり	(雄) GOOD  1° ~ -1° (雌) GOOD  0° ~ -2°
	2) 横方向曲がり	NG  0.5° 目視で変形が認められるものは使用できません。
	3) 送り不良	NG  目視で変形が認められるものは使用できません。
	4) タブの変形状態 (雄)	NG  目視で変形が認められるものは使用できません。
	5) 箱及びスタビライザの変形 (雌)	 正常  NG

項目	チェック内容	判定基準
3. 圧着による変形	6) 端子底面の変形	NG  目視で変形が認められるものは使用できません。
	7) 圧着後の後足段差 * 注意 段差寸法が 0.12mm 以下の 場合、ベントアップと同じ 様な現象が起きコネクタ かん合時、雄端子・雌端子 が突当ってかん合不良の 原因となります。	端子底面の変形  GOOD 
	8) ゴム栓 上下方向曲がり * 注意 ゴム栓が上方向に曲って いる場合、ベントアップと 同じ様な現象が起きコネ クタかん合時、雄端子・雌 端子が突当ってかん合不 良の原因となります。	OK : $\leq 0^\circ$  OK : $< 0^\circ$  NG : $> 0^\circ$  目視で変形が認められるものは使用できません。

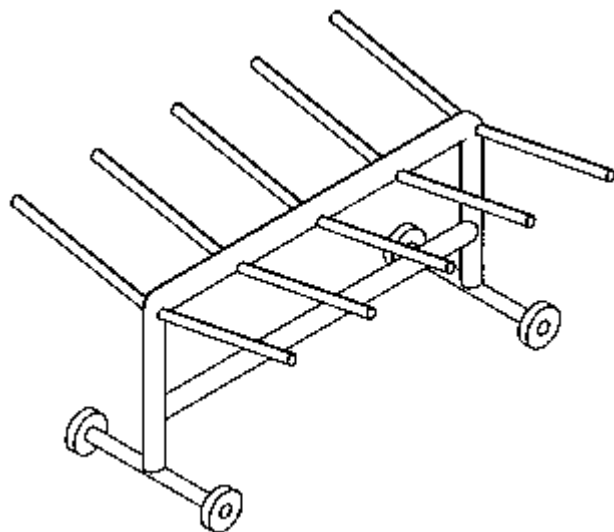
4. 端子圧着済品の取扱い

端子圧着済品は、運搬・保管中に変形や損傷が発生しやすい為、下記項目に十分注意して下さい。

- 1) 端子圧着済品は、バラバラにならない様にゴム等で束ねて下さい。
束ね本数が多すぎると、端子同士の引っ掛かりによる変形不良や損傷不良、自重による作業性の悪化が考えられますので、一束の本数は50本以下として下さい。
束ねる時に、端子先端を叩いて揃えないで下さい。
- 2) 端子圧着済品にはビニール袋を被せて、埃から保護して下さい。
- 3) 保管・運搬の際は保護カバーを使用し、ハウジングに組み付ける直前まで外さないで下さい。
但し、端子圧着済品は変形しやすいので、端子圧着後は速やかにハウジングに組み付けて下さい。
- 4) 運搬は、線架台又は蓋付きのポリケース通い箱にて行い、積み重ねしないで下さい。
- 5) 投げ込みや投げ降しは絶対にしないで下さい。

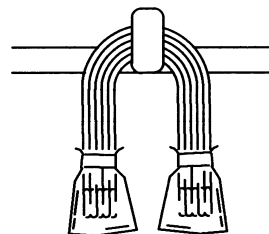


端子圧着済電線処理例

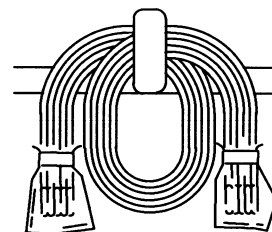


<線架台>

線架台使用例



<短い製品>

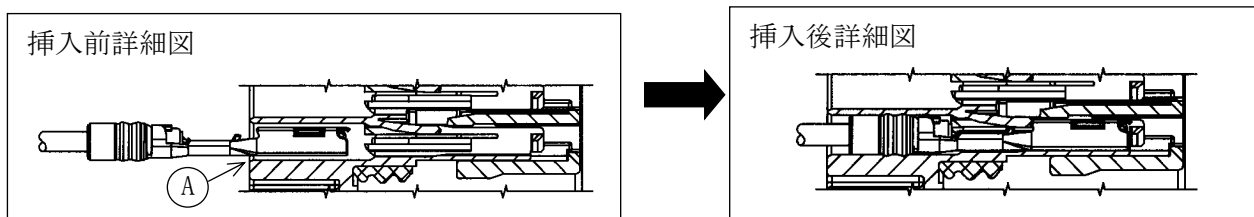
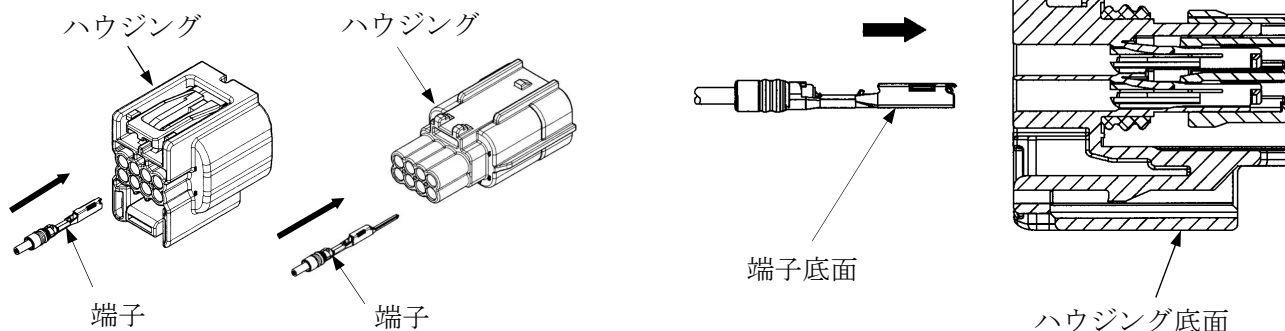


<長い製品>

5. 端子とフロントホルダの組み付け方法及び注意事項

5-1. 端子挿入方向

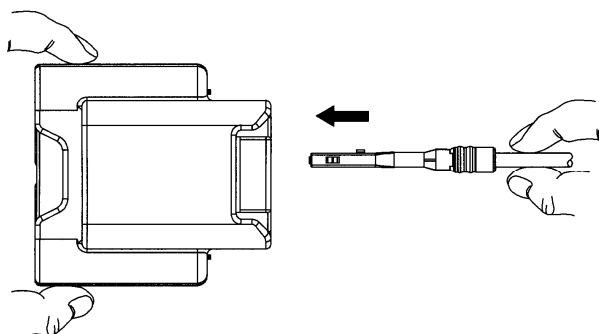
1) 端子挿入の仕方は、下記を参照して下さい。



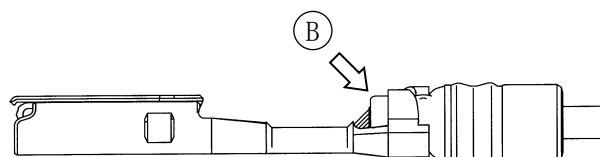
端子底面を①部側に沿わず様に挿入して下さい。

5-2. 端子組み付け方法

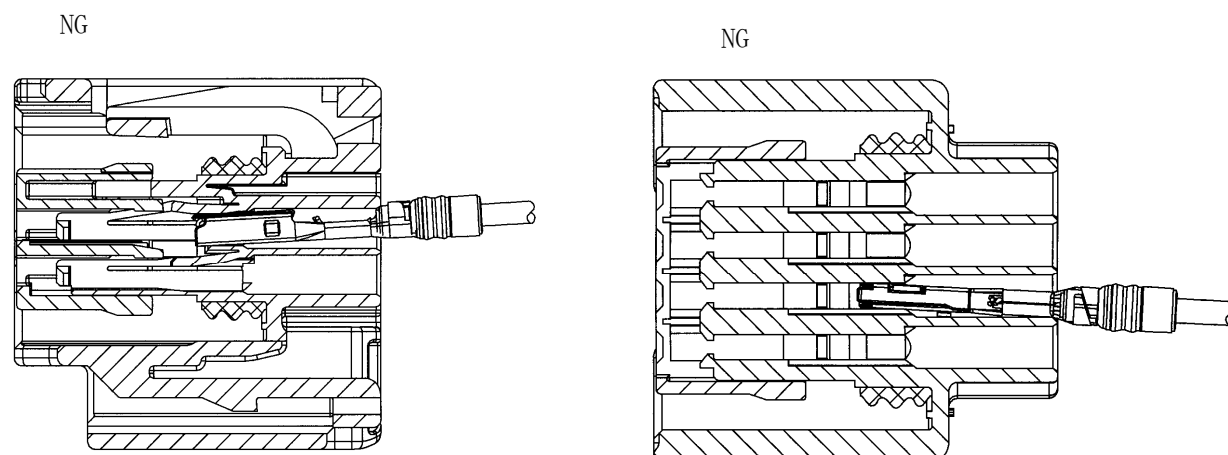
- 1) フロントホルダが本係止されていないことを確認して下さい。
フロントホルダが本係止されている場合は、仮係止位置に戻してから端子を挿入して下さい。
(仮係止位置は 5-3 図を参照)
- 2) 電線部をつまんで、ハウジングと端子が正しい向きか確認してから端子をハウジングに入れて下さい。(5-1 図参照)
 - * 正しい方向か、確認する方法として、例えばハウジング底面と端子底面を見る等して挿入して下さい。[図-1 参照]
 - * 端子挿入時、図-2 ②部がハウジングに引っ掛からない様に注意して下さい。[図-3 参照]
- 3) 「カチン」という音が聞こえるまで、端子を挿入して下さい。音が聞こえたら、ビークが確実に端子に係止したことを示します。
 - * 電線をかろく引っ張って端子が確実に係止されていることを確認して下さい。
- 4) 2)、3) の作業中、ハウジングに端子が挿入できない場合、それは、正しい向きではありません。正常な場合は、端子を簡単に挿入することが出来ます。挿入できない場合は、ハウジングから端子を移動させ正しい向きに従って 2)、3) の方法で再び行って下さい。作業は正しくスムーズに行ってください。



[図-1]

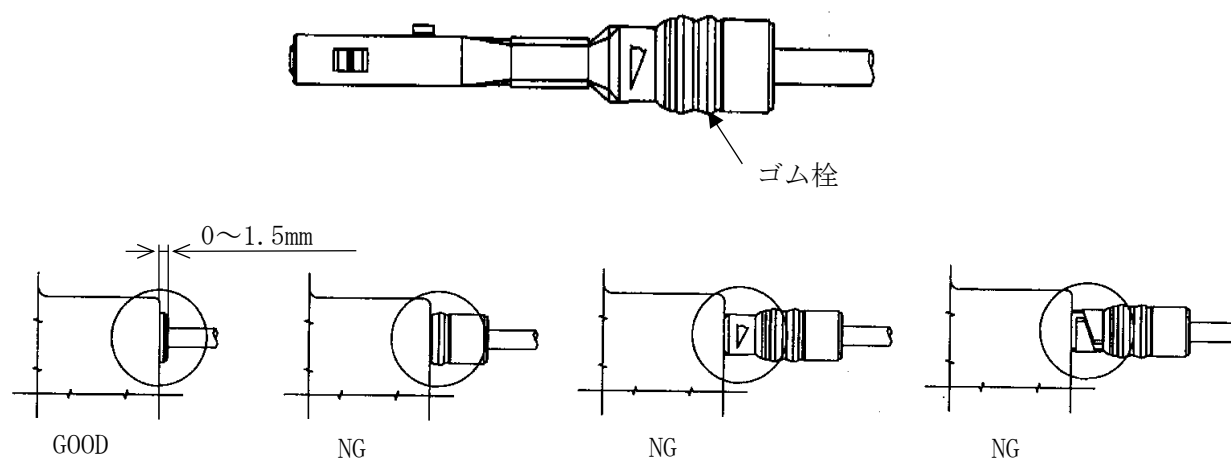


[図-2]



[図-3]

- 5) 1)、2)、3) の手順が済んだら、ゴム栓の位置を確認して下さい。もしゴム栓リップ部や、端子本体が飛び出していたら、端子が正しく挿入されていません。

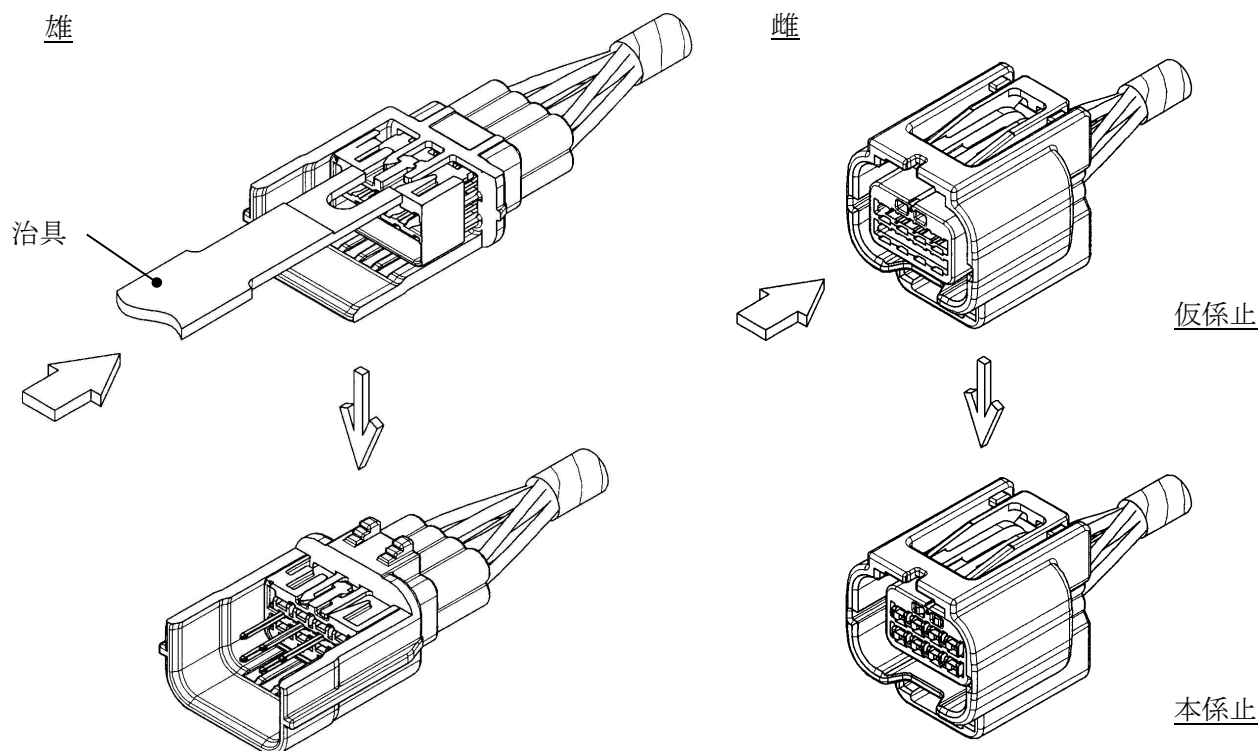


注意事項

- 1) 端子を正しい向きで挿入しても、端子が入らなかったり、挿入が困難な場合は、端子の変形や、破損の可能性があります。(3-3. 端子圧着の注意事項と判定基準参照)
- 2) 破損した部品は、新しい部品と交換して下さい。

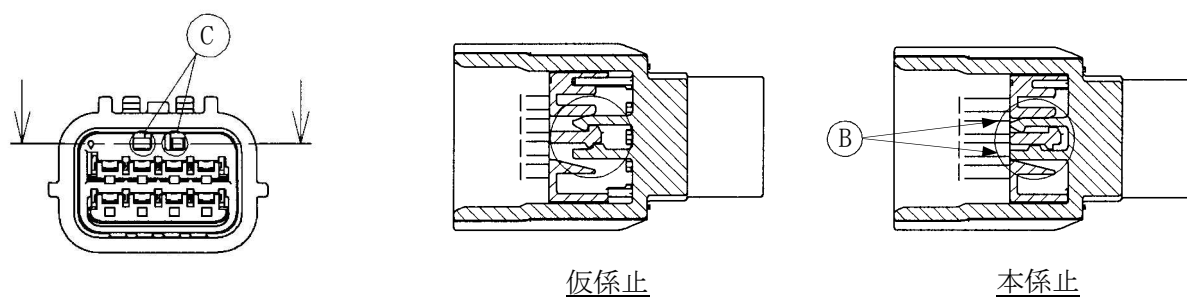
5-3. フロントホルダの組み付け：仮係止→本係止

1) 「カチン」という音が聞こえるまで、ハウジングにフロントホルダを押し込んで下さい。

**注意事項**

雄ハウジングのフロントホルダを本係止する時は、雄端子のタブを変形させない様注意して下さい。

2) フロントホルダがハウジングに確実に係止されているか、確認して下さい。



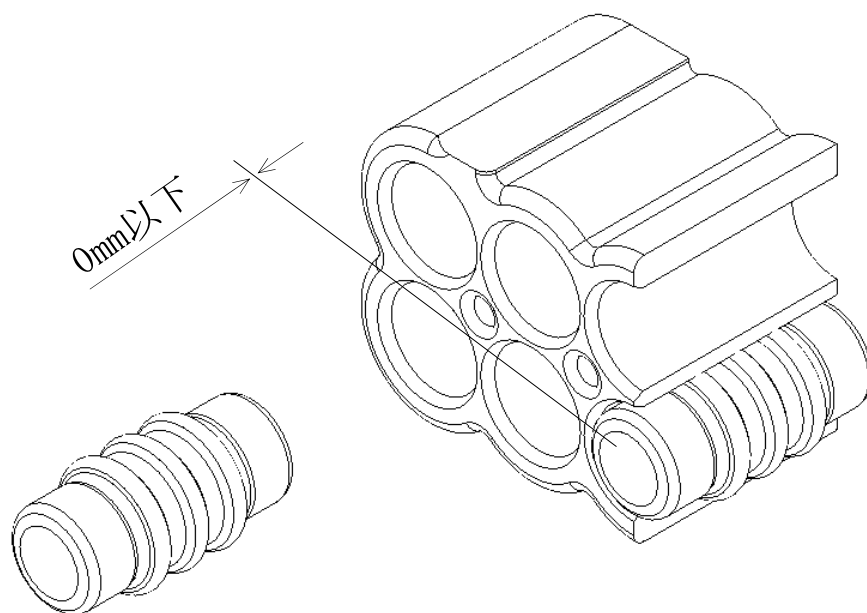
右図②部が、①部より見えることを確認して下さい。

注意事項

- 1) ハウジングにフロントホルダが組み付けられない場合、端子がキャビティに完全に入っていないことが考えられます。(端子誤挿入)
- 2) 破損した部品は、新しい部品と交換して下さい。

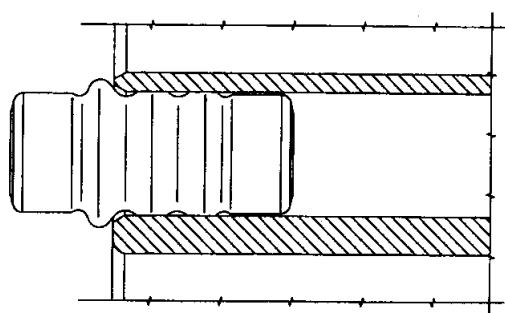
5-4. 防水栓装着

1) 図の様に防水栓を挿入して下さい。

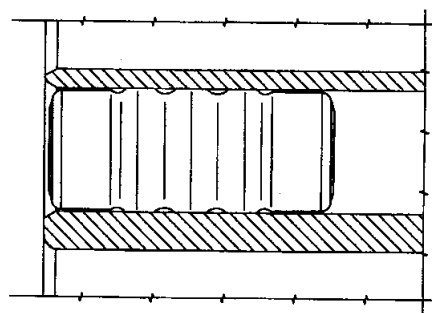


注意事項

防水栓後端がハウジング後端から飛び出していないことを確認して下さい。(0mm 以下)



NG



GOOD

5-5. ハウジングに端子を挿入した製品

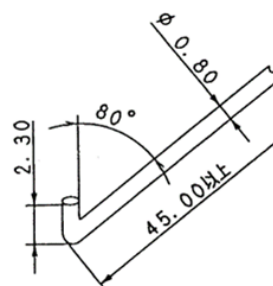
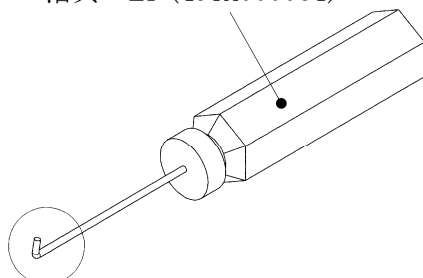
- 1) 直射日光の当たらない乾燥した場所に保管して下さい。(常温：5℃～35℃)
- 2) 雌ハウジングのシール面に異物が付着したり傷が付かない様に保護して下さい。

6. 端子とフロントホルダの引き抜き方法及び注意事項
各種治具の購入は弊社営業までお問い合わせ下さい。

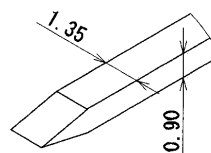
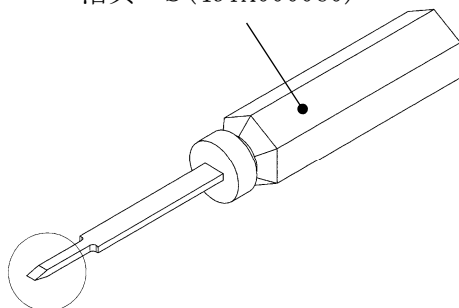
6-1. フロントホルダ引き抜き治具

指定の治具を使用して下さい。(下記参照)

治具: ZF (49YA000064)

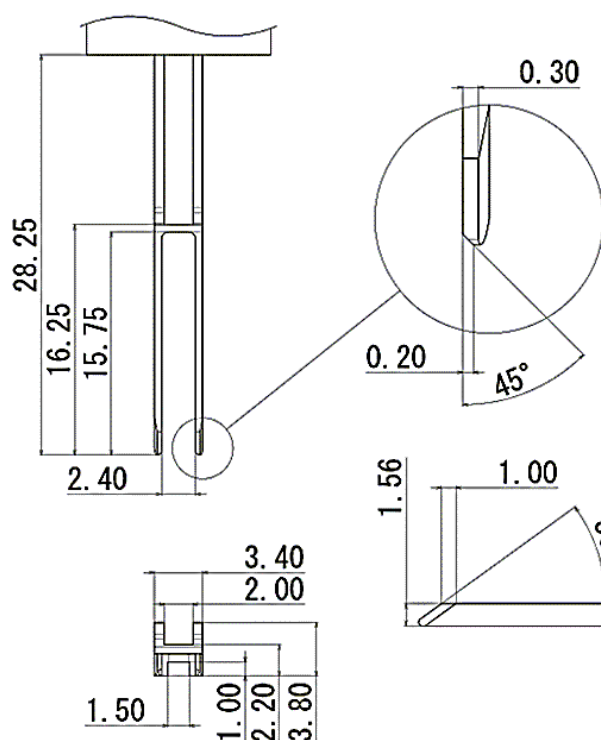


治具: S (49YA000060)

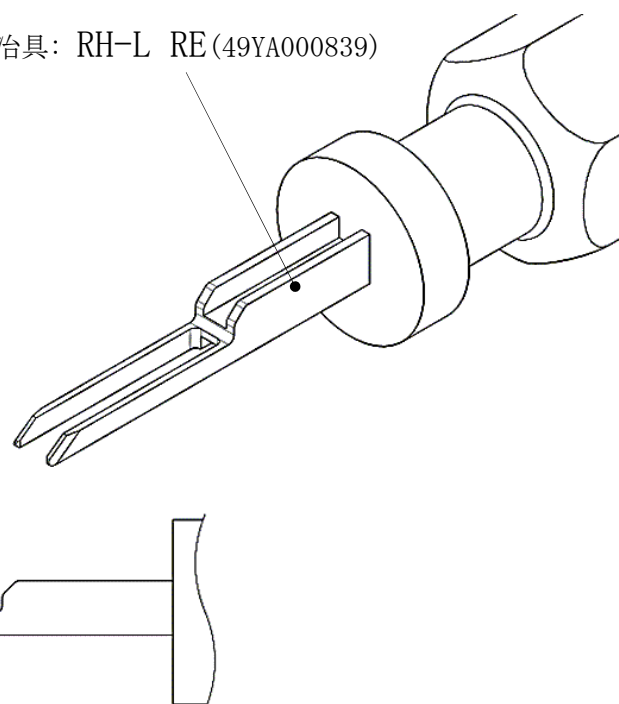


6-2. 端子引き抜き治具

指定の治具を使用して下さい。(下記参照)

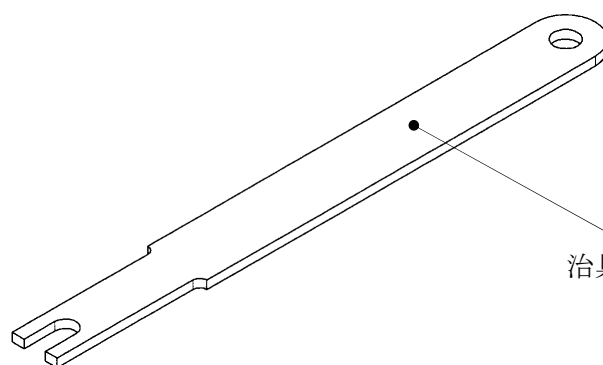


治具: RH-L RE (49YA000839)



既存の治具 (49YA000209) でも端子引き抜きは可能ですが、上記の治具を推奨します。

6－3．フロントホルダ装着治具



治具: 2 ロック (49YA000059)

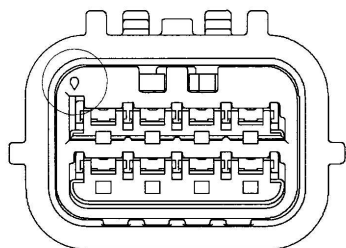
6-4. フロントホルダ解除：本係止→仮係止

下記の様に治具を矢印の方向へ動かして、フロントホルダを仮係止状態へ戻します。

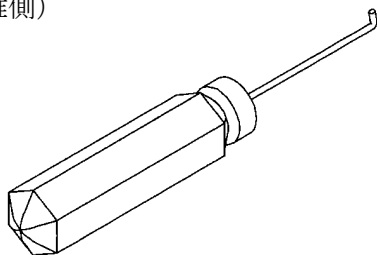
挿入位置

治具は△マーク下図の位置に挿入します。

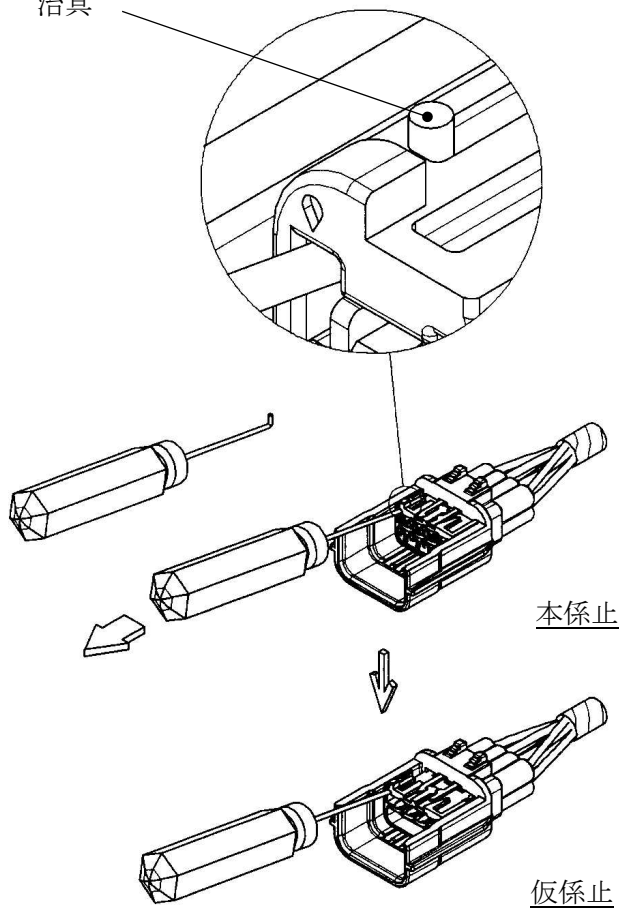
3, 8 P (雄側)



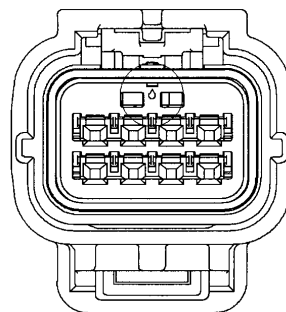
挿入方向
(雄側)



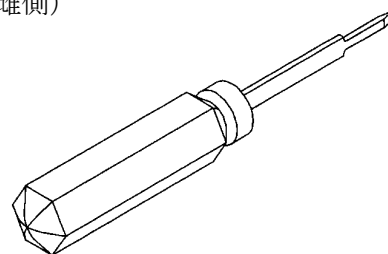
治具



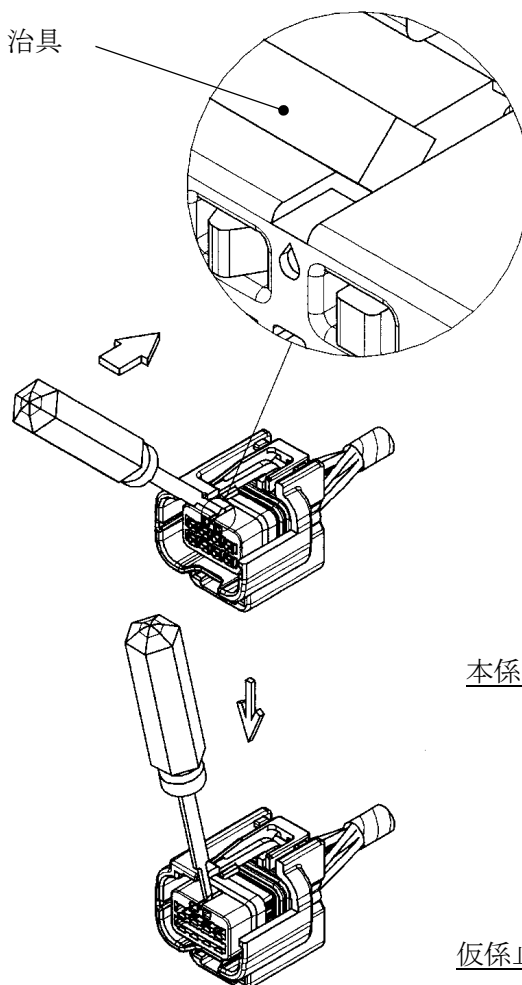
(雌側)



(雌側)



治具



6-5. 端子の引き抜き方

①フロントホルダが仮係止状態にあることを確認して下さい。(6-4 参照)

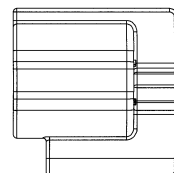
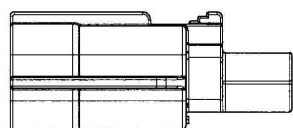
②治具の向きを確認して下さい(下図参照)

(ハウジングへ治具の方向を誤って挿入すると、ランスを破損する恐れがあります。)

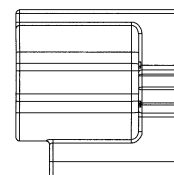
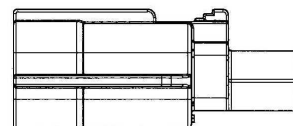
雄側

雌側

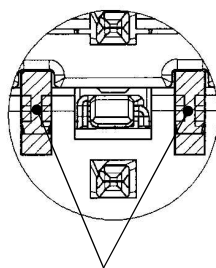
GOOD



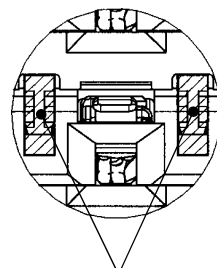
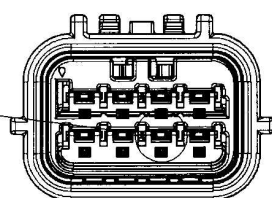
NG



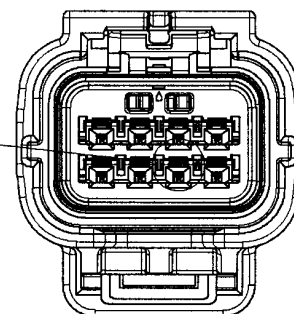
③端子とハウジングの隙間に治具の先端をセットします。



治具挿入位置

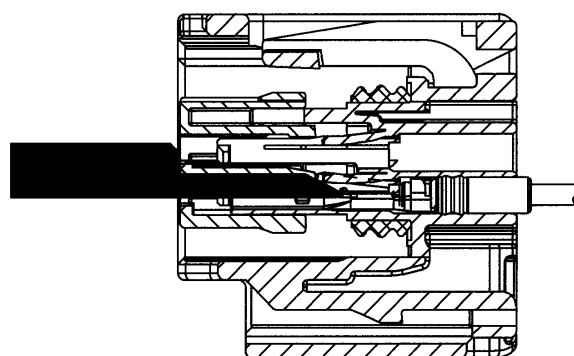
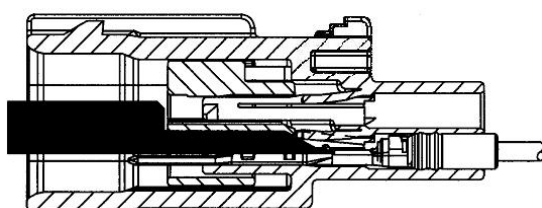


治具挿入位置



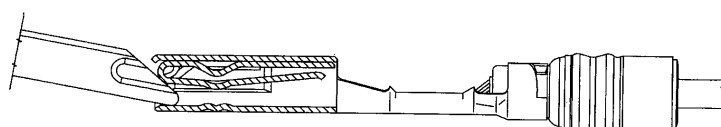
④治具を押し込んでランスを解除し、電線を引っ張り端子を抜きます。

(治具で端子をこじらないで下さい。)



注意事項

- 1) 破損した部品は交換して下さい。
- 2) 端子離脱作業の際、端子箱部に治具を入れないで下さい。[図-1]
- 3) 治具が入った際は、端子を交換して下さい。



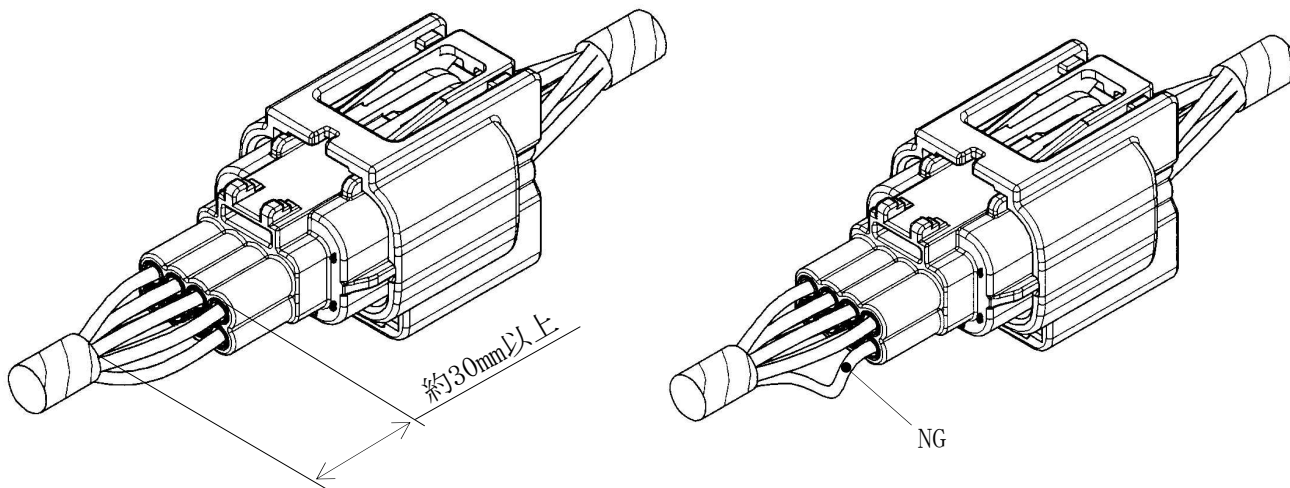
NG

[図-1]

7. ワイヤハーネス組み付けと取扱い

7-1. ハーネス組み立て

- 1) 各部品変形の有無を確認し、変形したものは新しいものと交換して下さい。
- 2) 落下による衝撃を避ける様、注意して下さい。
- 3) コネクタを組み立て治具に組み付ける際、コネクタを持って引っ張らないで下さい。
(端子抜けの原因になる為)
- 4) コネクタを組み立て治具に組み付ける際、電線をしごいて伸ばさないで下さい。
(断線の原因になる為)
 - *超音波にて部品（電線・端子等）の接続を実施する場合には、端子・コネクタに悪影響を及ぼさないことを確認の上、行って下さい。
 - *テープ巻きはコネクタ後端面より 30mm 以上離れた所より巻き始めて下さい。
(防水性に影響する為)
- 5) 特定のリード線が突張ってテープ巻きされた場合、引張力がそのリード線に集中し端子抜け等の悪影響を及ぼす為、それぞれの電線が、均一な引張力となる様にテープ巻きをして下さい。



7-2. 導通検査

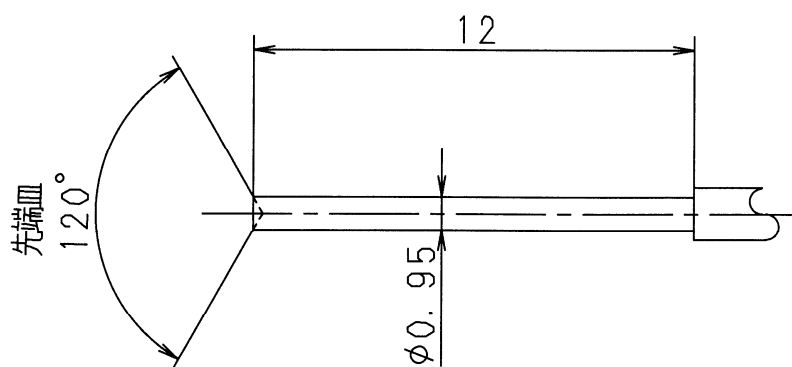
指定の治具を使用し、下記に従って検査を行って下さい。

1) 導通ピン仕様

雄コネクタ用

基本仕様：端子抜け検出能力は、端子の正規係止位置より、端子の抜け量が 1 mm 以上。

- ・端子に掛かるスプリング力は 100 g (max) とする。
- ・先端 Au (金) めっき処理。
- ・導通ピンの形状詳細は〔図-1〕参照のこと。

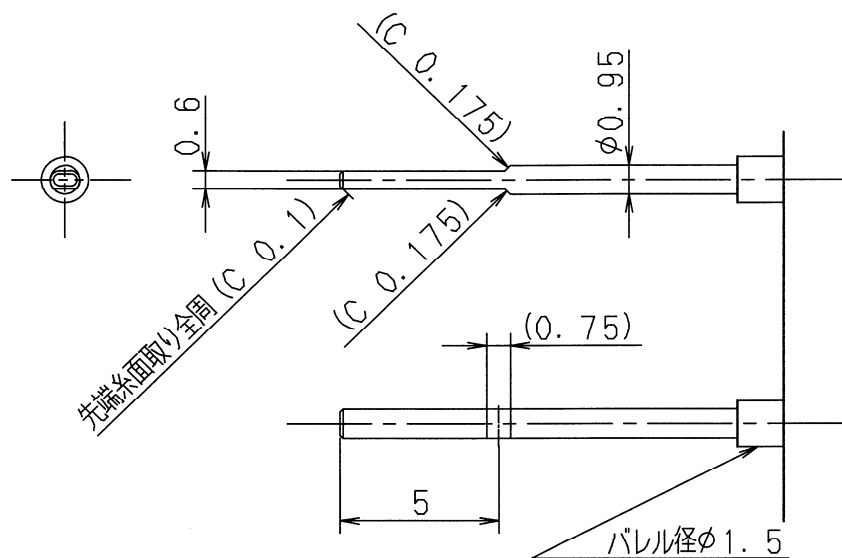


〔図-1〕 025-M 導通ピン先端形状詳細

雌コネクタ用

基本仕様：端子抜け検出能力は、端子の正規係止位置より、端子の抜け量が 1 mm 以上。

- ・端子に掛かるスプリング力は 100 g (max) とする。
- ・先端 Au (金) めっき処理。
- ・導通ピンの形状詳細は〔図-2〕参照のこと。
- ・導通ピンは必ず導通用窓に当てる様に設計。〔図-4〕参照

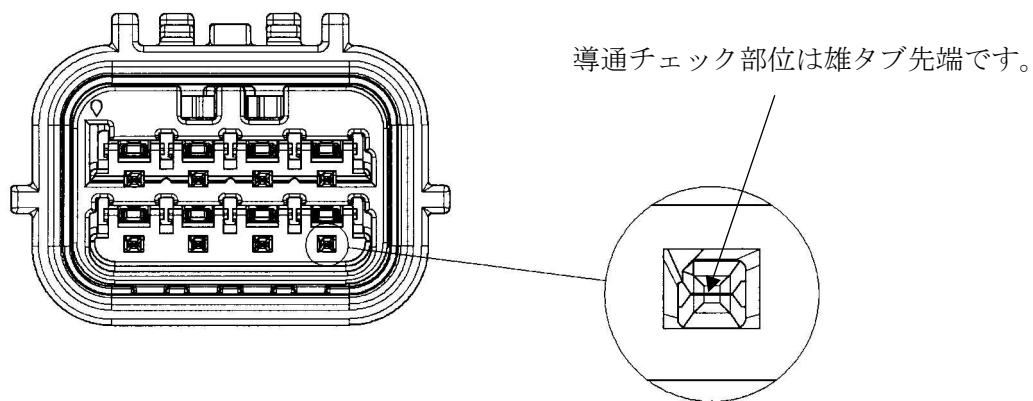


〔図-2〕 025-F 導通ピン先端形状詳細

2) 導通検査方法

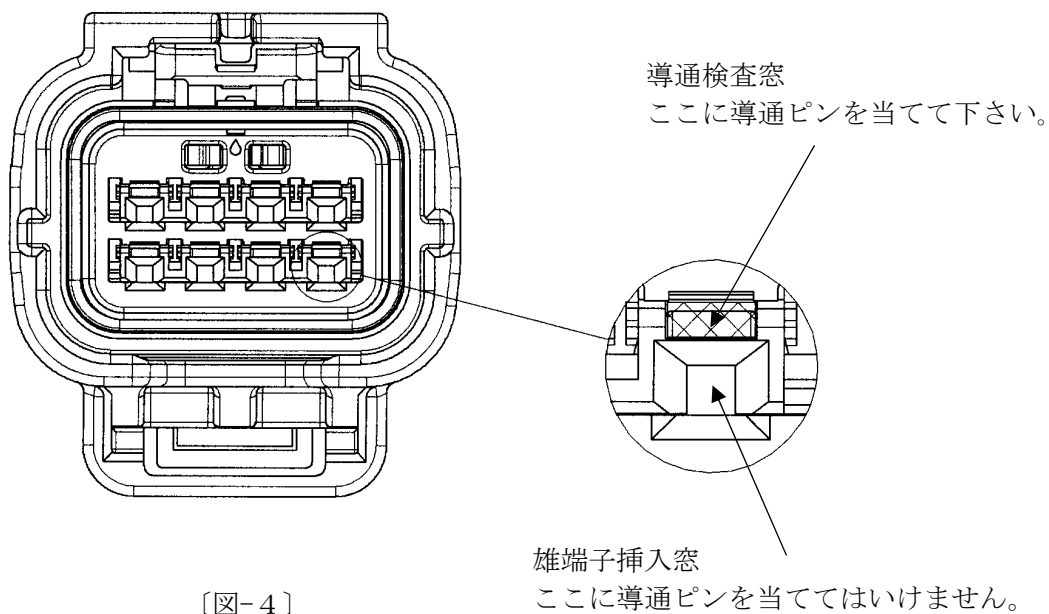
- ① 導通検査はフロントホルダ本係止後に行ってください。
- ② 配線検査や導通検査に使用する治具は端子やハウジングを破損、変形させてはいけません。
- ③ 破損したハウジングや端子は必ず交換してください。

雄コネクタ



〔図-3〕

雌コネクタ

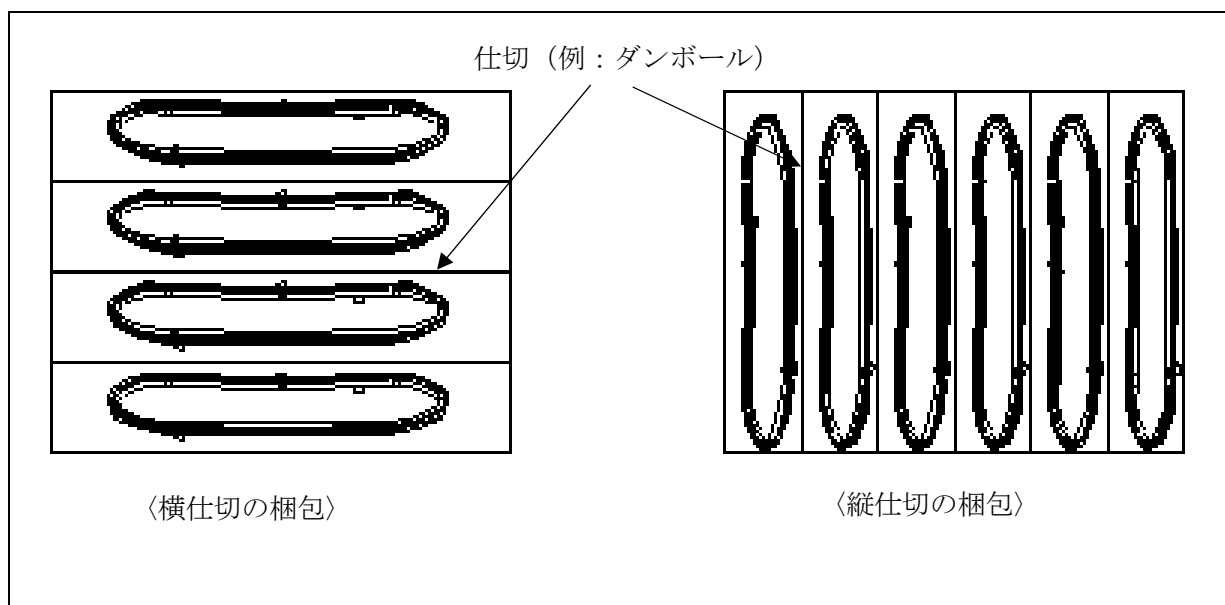


〔図-4〕

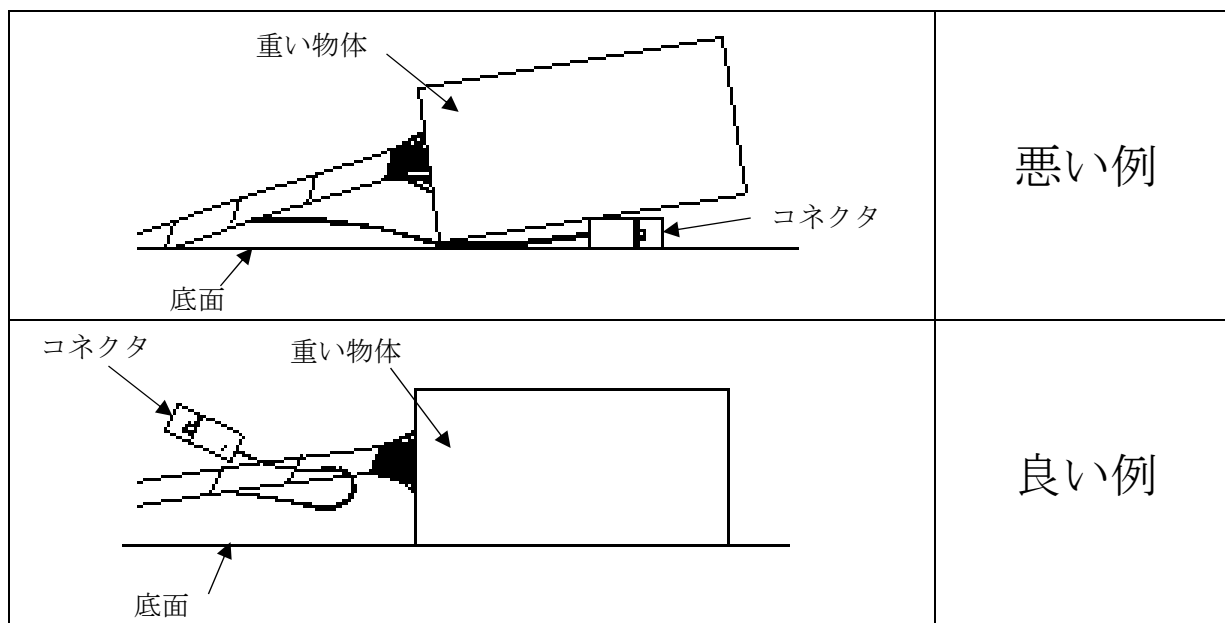
7-3. ワイヤハーネス梱包時の注意事項

他の多くのプラスチック部品と同じ様にコネクタも、外力が運搬や保管中にかかると変形や損傷をする可能性があります。そこで、変形や損傷を防ぐ為以下の指示に従って下さい。

- 1) 多層にてワイヤハーネスを梱包する場合、各ワイヤハーネスの荷重が他のワイヤハーネスのコネクタを変形や損傷させることがあります。ダンボールの縦・横仕切、内部支えを図の様に使用し、荷重が均等になる様にして、この様な変形や損傷を防いで下さい。



- 2) J/B、R/B 等の BOX 類、及びプロテクタ、ブラケット等の重いものや大きなものは、それらの部品の重量がコネクタに加わらない様に箱や仕切面の底面に置く様にして下さい。

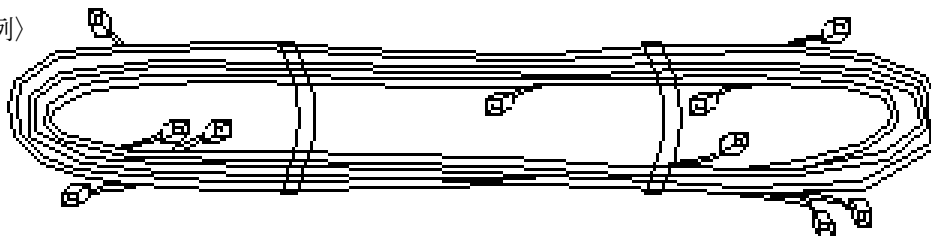


- 3) ワイヤハーネスの荷重が加わらない様ワイヤハーネスの束の外あるいは中にコネクタを配置して下さい。

【梱包時のコネクタの置き方】

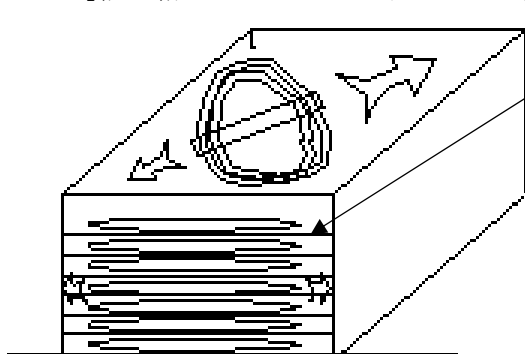
ワイヤハーネスの重量がコネクタにかからない様にする為、コネクタは全てワイヤハーネスの束の内側又は外側に出して下さい。

〈良い例〉



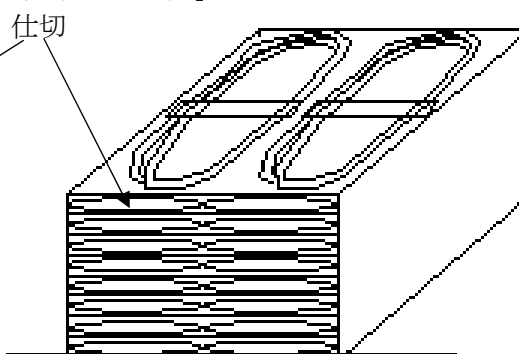
- 4) 梱包は、運搬や保管時にワイヤハーネスが動かない、最適な大きさにして下さい。

【梱包箱内のワイヤハーネスレイアウト：良い例・悪い例】



〈悪い例〉

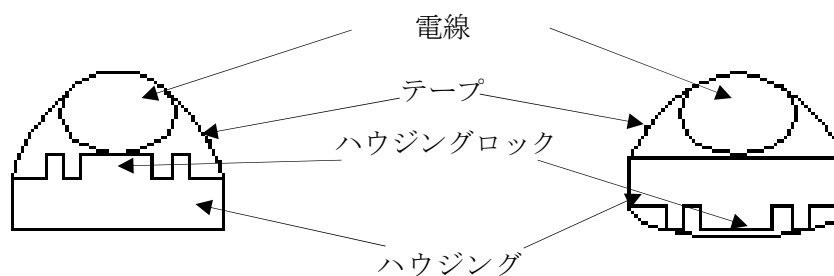
スペースが余分にある為、運搬中にハーネスが梱包箱内で動きやすくなっています。



〈良い例〉

一段二列にハーネスを梱包することで、余分なスペースを排除し、運搬中のハーネスの動きを最小限に抑えています。

- 5) コネクタをワイヤハーネスにテープ止めする際は、コネクタのロック及び、他の弾性部にワイヤハーネスが当たらない配置として下さい。



〈悪い例〉

〈良い例〉

- 6) 車両に取り付ける為に、ワイヤハーネスを梱包箱より取り出す場合、コネクタにダメージを与えない様、ワイヤハーネスが絡まない様に気をつけて下さい。
- 7) 運搬及び、保管後、コネクタにダメージがないか確認して下さい。
- 8) 雄ハウジング出荷前に、雄タブの曲がりがないことを、チェックゲージ等により確認して下さい。
→曲がりが発見された場合は、雄タブを手で直す等せずに、新品に交換して下さい。

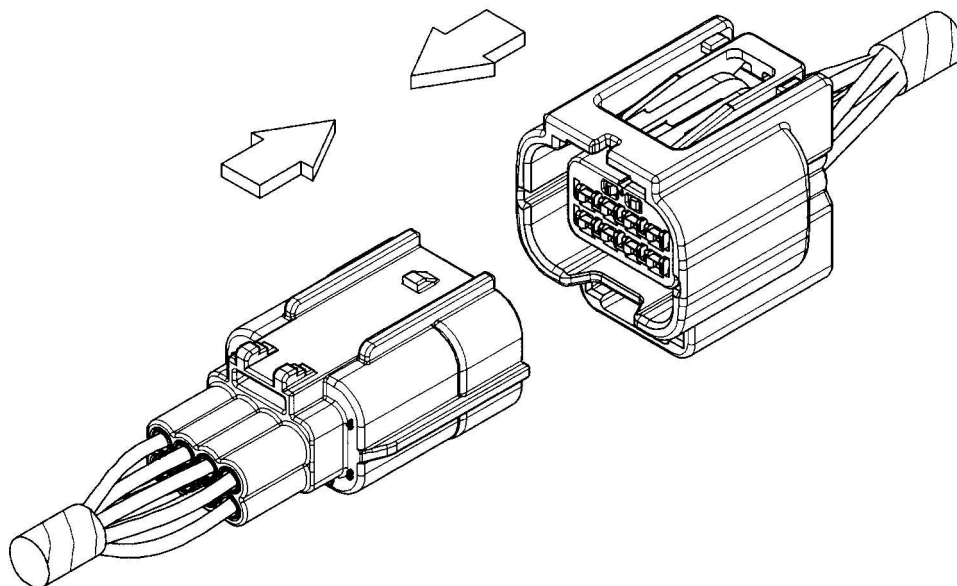
注意事項

ワイヤハーネスは水や埃から保護し、丁寧に取扱って下さい。

8. コネクタのかん合・離脱方法

8-1. コネクタのかん合

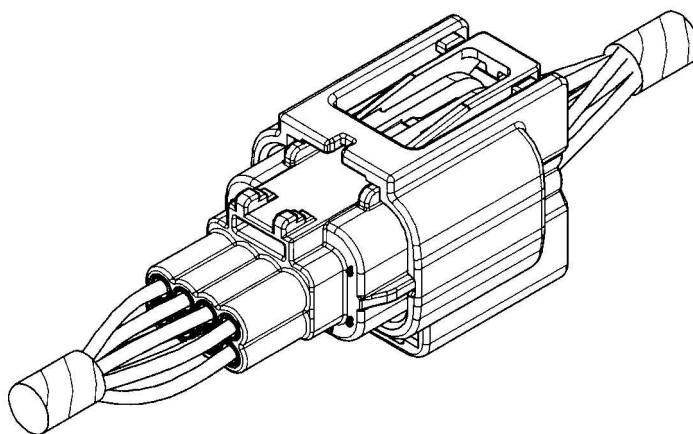
- 1) 中途かん合のない様係止音がして止まるまでこじらない様かん合させて下さい。
- 2) コネクタの向きを確認してかん合して下さい。(ロック側を上にする)
- 3) キーアームを押しながらかん合しないで下さい。



8-2. コネクタ離脱

雌ハウジングを持って、キーアームを押しながら離脱して下さい。

※絶対に電線を引っ張らないで下さい。



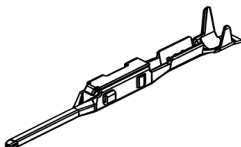
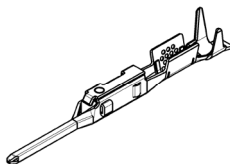
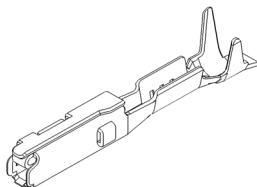
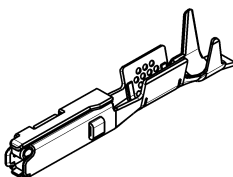
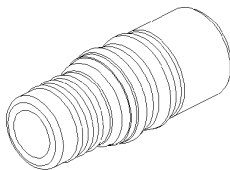
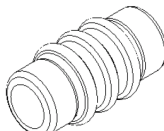
注意事項

- 1) 雌ハウジングと雄ハウジングを強く押し込んでもかん合できない時、方向が正しいか確認して、もう一度挿入して下さい。
- 2) かん合させる際は、コネクタや電線に無理な力を加えないで下さい。

9. 車輛組み付け

車輛に組み付ける場合、車体の貫通穴に通す場合は無理な引き抜きを行わないで下さい。

◎構成部品一覧表

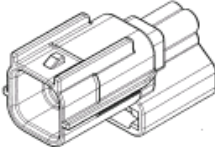
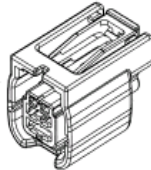
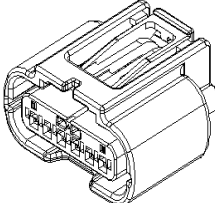
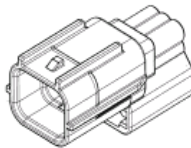
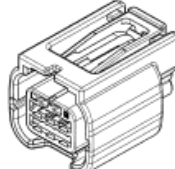
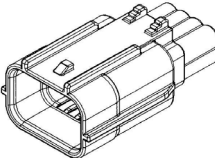
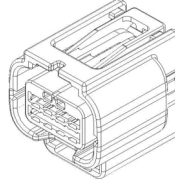
矢崎品番	矢崎品名	形状	材質 [表面処理・色]	端子・ゴム栓対応一覧	
7114-4415-02	025 タイプ 端子(M)		黄銅 [錫めっき]	別紙-2参照	
7114-4416-02					
7114-4417-02					
7114-4415-08			黄銅 [金めっき]		
7114-4416-08					
7114-4417-08					
7195-0546-02			黄銅 [錫めっき]		
7195-0547-02					
7195-0548-02					
7196-0104-02	025 タイプ 端子(F)		銅合金 [錫めっき]		
7116-4415-02					
7116-4416-02					
7116-4417-02			銅合金 [金めっき]		
7116-4415-08					
7116-4416-08					
7116-4417-08					
7196-0549-02			銅合金 [錫めっき]		
7196-0550-02					
7196-0551-02					
7158-3165-90	025 タイプ ゴム栓		含油シリコンゴム [青]		
7158-3166-60			含油シリコンゴム [緑色]		
7158-3167-80			含油シリコンゴム [茶色]		
7158-3168-80			含油シリコンゴム [濃茶色]		
7158-3169-40	025 タイプ 防水栓		含油シリコンゴム [灰色]		

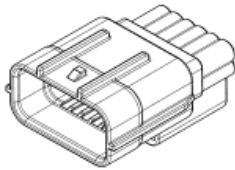
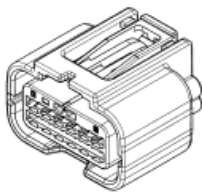
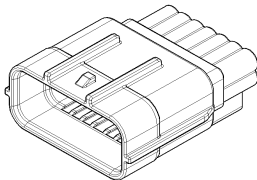
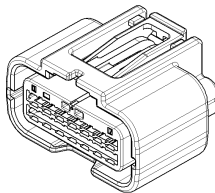
◎端子・ゴム栓・コネクタ対応一覧表

	矢崎端子品番	矢崎ゴム栓品番	電線サイズ
雄端子	7114-4415-02 7114-4415-08	7158-3165-90	CHFUS 0.22, 0.35sq
		7158-3166-60	AVSS 0.3sq CAVS 0.3sq CHFS 0.35sq AVSSH 0.3sq
	7114-4416-02 7114-4416-08	7158-3166-60	CHFUS 0.5sq
		7158-3167-80	AVSS 0.5sq CAVS 0.5sq CHFS 0.5sq AVSSH 0.5sq
	7114-4417-02 7114-4417-08	7158-3167-80	CHFUS 0.75sq
		7158-3168-80	AVSS 0.75sq CHFS 0.75sq CAVS 0.85sq
	7195-0546-02	7158-3165-90	ALVUS 0.35sq
	7195-0547-02	7158-3166-60	ALVUS 0.5sq
	7195-0548-02	7158-3167-80	ALVUS 0.75sq
		7158-3168-80	ALVUS 1.0sq
雌端子	7196-0104-02	7158-3165-90	CIVUS 0.13sq
	7116-4415-02 7116-4415-08	7158-3165-90	CHFUS 0.22, 0.35sq
		7158-3166-60	AVSS 0.3sq CAVS 0.3sq CHFS 0.35sq AVSSH 0.3sq
	7116-4416-02 7116-4416-08	7158-3166-60	CHFUS 0.5sq
		7158-3167-80	AVSS 0.5sq CAVS 0.5sq CHFS 0.5sq AVSSH 0.5sq
	7116-4417-02 7116-4417-08	7158-3167-80	CHFUS 0.75sq
		7158-3168-80	AVSS 0.75sq CHFS 0.75sq CAVS 0.85sq
	7196-0549-02	7158-3165-90	ALVUS 0.35sq
	7196-0550-02	7158-3166-60	ALVUS 0.5sq
	7196-0551-02	7158-3167-80	ALVUS 0.75sq
		7158-3168-80	ALVUS 1.0sq

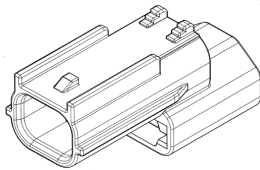
矢崎品番	矢崎品名	形状	材質 [表面処理・色]	備考
7282-2090	HS 025 タイプ コネクタ 2P ハウジング(M)		PBT [白]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF
7282-2090-30			PBT [黒]	
7282-2090-90			PBT [青]	
7283-2090	HS 025 タイプ コネクタ 2P ハウジング(F)		PBT [白]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン
7283-2090-10			PBT [濃灰]	
7283-2090-30			PBT [黒]	
7283-2090-90			PBT [青]	
7287-8642-40	HS 025 タイプ コネクタ 2P ハウジング(F) (TYPE-B)		PBT [薄灰]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン
7282-2147	HS 025 タイプ コネクタ 3P ハウジング(M)		PBT [白]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF
7282-2147-30			PBT [黒]	
7282-2147-40			PBT [薄灰]	
7283-2147	HS 025 タイプ コネクタ 3P ハウジング(F)		PBT [白]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン
7283-2147-30			PBT [黒]	
7283-2147-40			PBT [薄灰]	
7287-7502-30	HS 025 タイプ コネクタ 3P ハウジング(F) (THOUGH LOCK LESS)		PBT [黒]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン

<ハウジング>

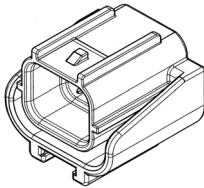
矢崎品番	矢崎品名	形状	材質 [表面処理・色]	備考
7282-2763	HS 025 タイプ コネクタ 4P ハウジング(M)		PBT [白]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF
7282-2763-30			PBT [黒]	
7282-2763-60			PBT [緑]	
7283-2763	HS 025 タイプ コネクタ 4P ハウジング(F)		PBT [白]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン
7283-2763-30			PBT [黒]	
7283-2763-60			PBT [緑]	
7287-1380-30	HS 025 タイプ コネクタ 6P ハウジング(F)		PBT [黒]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン
7282-2764	HS 025 タイプ コネクタ 6P ハウジング(M)		PBT [白]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF
7282-2764-30			PBT [黒]	
7282-2764-40			PBT [薄灰]	
7283-2764	HS 025 タイプ コネクタ 6P ハウジング(F)		PBT [白]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン
7283-2764-30			PBT [黒]	
7283-2764-40			PBT [薄灰]	
7282-2148-10	HS 025 タイプ コネクタ 8P ハウジング(M)		PBT [濃灰]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF
7282-2148-30			PBT [黒]	
7283-2148-10	HS 025 タイプ コネクタ 8P ハウジング(F)		PBT [濃灰]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン
7283-2148-30			PBT [黒]	

矢崎品番	矢崎品名	形状	材質 [表面処理・色]	備考
7282-4038-30	HS 025 タイプ コネクタ 12P ハウジング(M)		PBT [黒]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF
7282-4038-40			PBT [薄灰]	
7283-4038-30	HS 025 タイプ コネクタ 12P ハウジング(F)		PBT [黒]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン
7283-4038-40			PBT [薄灰]	
7288-6612-30	HS 025 タイプ コネクタ 14P ハウジング(M)		PBT [黒]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF
7289-6613-30	HS 025 タイプ コネクタ 14P ハウジング(F)		PBT [黒]	フロントホルダ[白] 材質:PBT-GF パッキン [茶] 材質:シリコン

<CAP>

矢崎品番	矢崎品名	形状	材質 [表面処理・色]	備考
7158-9222-30	HS 025 タイプ 2P CAP		PBT [黒]	-

<ジョイントコネクタ>

矢崎品番	矢崎品名	形状	材質 [表面処理・色]	備考
7382-9454-30	HS 025 タイプ ジョイントコネクタ 6P(M)		PBT [黒]	-